

# わが子のあゆみ



かかみがはらしりつな かだい にしょうがっこう  
各務原市立那加第二小学校

2021.11  
No.468  
初冬号  
第73巻3号

11

## ▼ プラタナス公園 ▼

本校のグラウンド南側には「プラタナス公園」とよんでいる場所があります。昭和15年、那加第二小学校が創立されたとき、記念樹としてたくさんのプラタナス（スズカケノキ）が植えられました。初めは細い苗木でしたが、今では大きく育って林となり、夏には涼しい木かげを作ってくれます。戦時中は、この下に防空壕が作られ、子どもたちの命を守りました。プラタナスの林はこの学校とともに歩んできました。学校の宝物としていつまでも大切にしていきたいです。



「やまがたしりつおおがしもうがっしん」

# 山県市立大桑小学校

住所 〒501-2101  
山県市大桑2382番地1  
TEL 0581-27-2151  
児童数 42名



〔地域の自然や風土〕  
春は鳥羽川両岸に連なるように咲く桜のトンネル、六月にはホタルが飛び交う自然豊かな山県市大桑。秋には大桑発祥の利平栗が実る。



校舎



学校の教育目標

力いっぱいやりぬく大桑の子

学校のたからもの  
「私も子どもと一緒に登ったよ。  
古城山。」

校区のクリーン作戦を児童、保護者、地域の方と一緒に活動しているときに、地域の方からかけられた言葉である。この方は、地域にも配付している学校だよりの巻頭言を読まれて、登山のことを校長として赴任した私に伝えられたことであった。

本校は令和四年五月に、開校一五〇周年を迎える歴史と伝統ある学校である。全校児童四十二人の小規模校で、二・三年生、四・五年生が複式学級である。毎年四月の最終日曜日に、児童・保護者・地域の方と一緒に古城山登山をするのが開校記念行事となっている。

古城山は本校の北東に位置する標高四〇七・五メートルの山で、戦国時代に権勢を誇った美濃国守護土岐氏の居城である大桑城がシンボルである。大桑城跡には現在、地元有志が製作したミニチュアの天守が建っている。山頂周辺には、伝台所や曲輪群といった平坦面や石垣、敵の侵入を防ぐ堀切や堅堀など、当時の山城の大きさを想像させる遺構が多く残っている。



山頂で記念撮影

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、古城山登山を中止にせざるを得なかった。今年度は、新型コロナウイルス又感染拡大防止対策のもと、全校児童と保護者と教職員で古城山の頂上を目指した。隊列の先頭とガイド役を地元の方にお願ひし、発掘調査を行った城の入口(岩門)の説明を、市役所生涯学習課の方にお願ひをした。児童



大桑城の入り口「岩門」で説明を聞く



登山の様子1



登山の様子2



山頂で大桑城について説明を聞く



山頂から大桑地区・金華山を望む

は、「大桑のお城は、山全体に広がっていて大きいことにびっくりした。」と話していた。ある保護者は、「山城には、敵が攻めてきたときの防御の仕組みがあることも分かった。」と新たな発見を喜んでみえた。頂上付近では、ギンリョウソウが出迎えてくれた。山頂に到着すると、みんなでおにぎりを食べ、雄大な眺望を楽しんだ。

今年度のPTA会長が子どもたちの時も、古城山登山を行ったそう、今年も親として古城山登山に参加してみえる。PTA会長は、「今年度は感染対策をしながら、なんとか伝統の行事である古城山登山を開催することができて良かった。この行事は大桑の伝統行事なのでずっと続けてほしい。」と願ひを語ってくれた。

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映が終わったものの、戦国時代の山城である大桑城のブームは続いている。古城山登山者も急増している。大河ドラマの中では、大桑と福井県福井市とのつながりを示す演出があった。大桑には越前堀と呼ばれる堀が残っている。また、福井市足羽山周辺で採取される笏谷石を用いた狛犬が大桑の十五社神社に現存する。こうしたつながりをもとに今年度から、福井市立一乗小学校とのオンライン交流を始めた。一乗小学校は、一乗谷朝倉氏遺跡のお膝元に位置している。令和の時代の新たな取組に、地域の方も期待を寄せている。

大桑城は地域の歴史を大切に守り育てようとする人と人のつながりを広げてくれる宝物なのである。クリーン作戦で偶然出会った地域の方とのつながりもまた、古城山登山であった。来年度は、開校一五〇周年記念登山を行う予定である。

「おおがきじりしんがくしょうがっこう」

# 大垣市立宇留生小学校



学校の教育目標

正しく 強く やりぬく子

住所 〒503-0032  
大垣市熊野町117-1  
TEL 0584-91-1022  
児童数 540名



〈地域の自然や風土〉

宇留生小学校は、水の都の大垣市中心部より北西部に位置する古からの住宅地にあります。

学校近くには、県下最大規模の弥生時代の遺跡である荒尾南遺跡や御首神社などの文化財も多く、古代から人々の生活がさかんで、歴史や文化の豊かな地域です。本校は、JR東海道線荒尾駅に隣接し、東海環状自動車道大垣西インターから車で約三分という交通の便の良い場所に位置しています。地域の小学校として多くの人々に愛され、来年度には一五〇周年目を迎えます。



校舎



児童会によるあいさつ運動

## 学校のたからもの①

### 宇留生小 児童会の5本柱

1. すすんでみんなに ニコニコあいさつ
  2. こころのはしまで もくじかそうじ
  3. なかまといっしょに たかめるうたごえ
  4. いつでもどこでも ポカポカことば・こうどう
  5. きいてはなして みんながくしゅう
- 宇留生小では、児童会を中心にこの「5本柱」を大切にして活動をしています。

### ○すすんでみんなに ニコニコあいさつ

誰に対しても笑顔で挨拶することを心がけています。地域の方からも「登下校で出会うと自分から挨拶してくれるので、とても気持ちがいいですね。」という言葉をいただきます。宇留生小の宝物としてさらによい姿をめざします。

### ○こころのはしまで もくじかそうじ

「もくじか」の「もく」は「黙って掃除に取り組む」の「黙」です。掃除の時間が始まると、子ども達はおしゃべりをせず、床に膝をついて雑巾がけをします。自分たちが使う校舎に対して感謝の心を込めて掃除し、美しい環境作りをめざして活動しています。

### ○なかまといっしょに たかめるうたごえ

「合唱」は宇留生小の自慢です。コロナ禍以前、そのカードを掲示してお互いのよいところを交流する活動も行いました。よいところを認め合うこととお互いを、そして自分を大切にできる気持ちを育てています。

### ○きいてはなして みんながくしゅう

本校では、仲間と共に主体的・対話的に学ぶことができる子、自分の考えを表現できる子を目指して、日々授業に取り組んでいます。そのために、特に大切にしているのは通称「ちょコミ」ちよつとコミュニケーションです。これは、自分の学びの状況を判断して近くの仲間と意見を交流する活動です。「ちょコミ」を行うことで自分の考えに自信が持て、自分とはちがう考えを知ることにより考えを深めています。また、仲間と活動する楽しさ、仲間に自分の思いを伝えたり聞いたりすることの楽しさを実感しています。このような活動を継続的に行うことで、自分の考えを進んで表現できる子ども達を育てています。



## 学校のたからもの②

### 保護者・地域のみなさんの温かい支えとともに

前は、毎年「うたごえ子どもフェスタ」が開催され、オーケストラの伴奏をバックに各学級が練習してきた成果を保護者・地域の皆さんに披露していました。残念ながら、コロナ禍の中では開催することはできませんが、収束後は仲間と心を合わせた合唱をもう一度創り上げていきたいと願っています。

### ○いつでもどこでも

ポカポカことば・こうどう  
仲間に対して、心が温かくなる言葉をかけ合うこと、励まし合ったり、頑張りや認め合ったりすることを大切にしています。委員会の呼びかけにより、全校でよいことみつけを行



うたごえ子どもフェスタ(令和元年度)



児童会による「よいことみつけ」のキャンペーン(令和元年度)



きいてはなして みんながくしゅう(ちよつとコミュニケーション)



地域の神社を探検(令和元年度)



ボランティアの方による読み聞かせ

保護者・地域のみなさんの宇留生小への関心は高く、心温かく協力的です。登下校の見守り活動、読み聞かせボランティア、クラブ活動や総合的な学習、また、ふるさと教育の一環である「ふるさと大垣科」の学習の講師、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として現在は活動を見合わせている給食配膳ボランティアなど様々な場面において、本校の教育活動に対する積極的な支援があります。「子どもたちのためにできることがあればいつでも声をかけてください。」という温かいお言葉をかけていただくことも多く、大変めぐまれた環境の中で教育活動を進めることができます。一日でも早くコロナ禍が収束し、保護者・地域の方と共に子ども達の成長を支えていくことができますよう願っています。

「くじけりしつめいけりしつめいけりしつめい」

# 郡上市立明宝小学校

住所 〒501-4303  
郡上市明宝気良88番地  
TEL 0575-87-2132  
児童数 688名



〈地域の自然や風土〉  
郡上市を流れる長良川の支流である吉田川の上流に位置しています。春は桜、夏は溪流釣り、秋は紅葉、冬はスキーなど自然豊かな地域です。令和三年三月に「寒水の掛鐘」が国の重要無形文化財に指定されるなど、地域の文化が大切に受け継がれています。



校舎



玄関であいさつ活動  
～あいさつ委員会～



学校の教育目標

「進んでやりぬく明宝の子」

よく考える子 思いやりのある子 じょうぶな子

学校のたからもの①  
「あつたか・そうじ・べんぎょう」

四・五・六年生が活動する委員会の名称をするすみ委員会・あいさつ委員会・そうじ委員会・べんぎょう委員会とし、「あいさつ・そうじ・べんぎょう」を委員会活動の柱として活動を行っています。

あいさつ委員会では、毎朝児童玄関に立ち、一日が元気に明るくスタートできるように自分たちから先にあいさつを行っています。そうじ委員会では、掃除にがんばって取り組んでいた姿を見つけカードに記入する活動「校舎きらきら大作戦」を行いました。校内図に貼られたきらきらシールが増えていくことで、自分たちのがんばりを実感しました。

べんぎょう委員会では、学級ごとにめざす授業の姿を決め、その目標に向かって取り組み活動を行っています。授業後にはその姿について各学級で評価をし、その成果を確かめ合いながらレベルアップをめざしています。

PTA活動では、年に二回「あいさつ運動」を行っています。PTAの役員を中心に、校門に立ち、子どもたちと明るいあいさつを交わしています。

学校のたからもの②  
ふるさと明宝を学ぶ

ふるさと明宝をよく知り、地域に貢献していくこととする意欲や態度を育てるために、地域の人やもの、ことに関わって学習することをねらいに「郡上学」を行っています。

三年生では、地域の方に教えていただきながらトマトを栽培しています。地域にあるトマトケチャップ工場に自分たちが作ったトマトを持っていき、トマトケチャップを作っています。また、トマトケチャップ工場やハム工場にも見学に行き、トマトケチャップやハムができるまでの工程や働く人の大変さを学んでいます。

四年生では、漁業組合の方にお話いただき、あまごの一生や漁業を通して故郷の自然を愛する気持ちを学んだ後、あまごを気良川に放流しました。



PTAあいさつ運動



3年生 トマト作り



4年生 あまごについて学習



「あつたかボックス」の提案



「あつたかハート」の発表

人権七タの取組は、郡上市の独自の取組であり、今年で三十年目になります。人権七タ集会を通して、自分自身の人権感覚を振り返り、主体的な行動力を身に付けたいと考え取り組んでいます。今年度は、するすみ委員会を中心となり、全校のよいことを見つけ合う活動「あつたかボックスキャンペーン」を行いました。また、「あつたかハート」を描き、一人一人が自分の心の中の人権意識を色や言葉で表すことを通して見つめました。これらの活動を通して仲間の気持ちを考える力を高め、これからの自分の行動に目標をもつことができました。「あつたかハート」の取組は、今年で三年目になります。明宝小のよい伝統になります。

学校のたからもの③  
あつたかハート活動  
～人権七タ集会～

その他に、五年生では「稲作作り」、六年生では福祉の学習として「高齢者疑似体験」「盲導犬体験」「手話体験」など、地域の方に協力をいただきながら学習を進めています。



自分の考えを積極的に交流 ～べんぎょう委員会～



校舎きらきら大作戦 ～そうじ委員会～



実際に犬に触れながら学ぶ



パトカーの仕組みを学んでいる様子



重機の操作方法を学ぶ



高い所から建物を調査する様子



校舎



体育大会での大縄跳び



オンラインでのネットモラル学習

# 岐阜市立青山中学校

「岐阜市立青山中学校」

住所 〒502-0858  
岐阜市下土居2丁目27番号  
TEL 058-294-1555  
児童数 433名



〔地域の自然や風土〕  
本校は、岐阜市の北部に位置し、鷺山・常磐小学校を校区として、校区は、住宅地、農地、商業地が混在し、伝統的文化と新たな文化が重なった特有の地域文化が形成されています。



学校の教育目標

生活を見つめ 自ら創り出す生徒  
《重点》目標 努力 発見

学校のたからもの①  
どのような状況でも、  
創造力をはたらかせて、  
願いを形にできる営み

コロナ禍であっても、できる可能性を考え、前向きに生きる生き方を身に付けています。例えば、五月末に行われた体育大会では、練習、本番ともに多くの制約がある中でしたが、適切な練習時間や応援の仕方、ソーシャル

ディスタンスの取り方など、生徒が知恵を出し合い、対応方法を考え、安全かつ安心した体育大会を見事に実施することができました。本番での生徒たちの集中力、真剣な眼差し、どの瞬間をとっても、誰もが力を発揮している大変すばらしい姿でした。

またタブレットを使ったオンライン授業にも積極的に取り組んでいます。六月に実施したオンラインによる「ネットモラル学習会」では、全ての生徒が、自宅でタブレットを使って参加しました。もちろん操作方法などで通信トラブルが発生することもあります。自ら聞いたり調べたりしながら乗り越えていく姿が見られました。このような経験を積み重ねるため、夏休み明けのハイブリッド型授業（分散登校+オンライン授業）でも、タブレットを使って安心して学ぶ姿が見られました。

まだまだこれから先がどのように変化していくのかわかりませんが、きっとこのように日々の小さな営みが、生徒一人一人の自立につながっていくと考えています。

学校のたからもの②  
中学生からのハローワーク  
〜みんなの夢を将来につなげよう〜

青山中学校では、平成十六年より、青山中学校PTAが中心となって、進路学習「中学生からのハローワーク」を企画し、生徒の進路学習の充実に力を入れています。

具体的には、一級建築士・土木施工管理技士・弁護士・消防士・警察官・薬剤師などの様々な職種の地域の方が、講師としてプレゼンや実物を使って講義します。生徒は、希望に沿った約五十分の講義を三回聞くことができます。なので、仕事内容や仕事のやりがいなどについて、質問をしたり、感想を述べたりして職業についての理解を深めることができます。生徒からは、「自分に合った職業を選ぶという大切さを学んだ」「自分の性格をよく知って

どんな職業に向いているのかを今から探りたい」「自分の好きなことなど、どんな小さなことでも続けていくことが将来につながると思った」など、将来に向けて真剣に考える姿が見られました。

また講師の方からは、「生徒たちがとても真剣に聞いていて、こちらも話やすかった」「生徒たちが少しでも岐阜の将来に活躍してくれるといい」など、生徒たちへの学ぶ姿勢への感謝と生徒たちの将来に期待する思いを感じました。

新型コロナウイルス感染症対応のため、令和二年度は中止、本年度は、講師数や講義回数を減らし、少人数又はオンラインで実施できないか検討中です。このような状況でも、地域の方や保護者の方と共に創造力をはたらかせて、願いを形にできる営みを大切にしていきたいと考えています。

## 9月号を読んで

コロナ禍の中でも、各学校の工夫された実践を知ることができて参考になりました。ピンチをチャンスに変えること、大切ですね。(Iさん)

私が中学校時代に教えていただいた時の校長先生がコラムを書かれていてびっくりしました。思わずじっくり読みましたが、今と昔で変わるものと変わらないものがあるんだと懐かしくなりました。(Mさん)

いろんな学校のPTA役員さんのお話がとてもおもしろく、PTA役員もいいかなと思います。様々な学校で、子どもたちのためにいろんな考えでPTAが運用されていて素晴らしいと思います。あと、レシビが子どもと一緒にできて良かったです。(Kさん)

いつも楽しく読んでいます。「敬老の日」の由来になった県は知らなかったです。調べて勉強になりました。(Kさん)

お試しクッキングでさつまいもを使った料理を娘と一緒に作ってみました。とてもおいしかったです。(Tさん)

社会の変化とこれからの子育ての記念講演の内容を読み、自己肯定感の大切さを強く感じました。自分から考えて行動し、それが上手くいった時の喜びが自信に繋がる。それが自分の強みになる。私自身も経験したことです。勉強時間の長さでなく、子どもたちが考えて学ぶ時間に価値がある。本来の目的である生きる力をつけるには、の目線を私も考え子どもに接したいと思いました。(Sさん)

「わが子のあゆみ」参考になります。同じ思いをされている方、工夫されている方、アイデアは無尽です。(Mさん)

工藤勇一さんの記事で「学習者主体。学ぶ姿は寺子屋です。何を学んでどう学ぶかを子どもが決めるような時代に変えていくんです。」すごく当たり前のことが、ずっと今までの教育、疑わずに正しいと思ってやっていた自分に、「あ〜、慣れっこだった」と思いました。(Kさん)

「話そう! 語ろう! わが家の約束」のコーナーをいつも楽しく読んでいます。今回の高井家の3つの約束は我が家も大切にしています。家族で話し合えることが大事だと感じます。(Tさん)

## もくじ わが子のあゆみ 2021.11 No.468 初冬号

表紙 各務原市立那加第二小学校

- 1 学校のたからもの  
山県市立大桑小学校/大垣市立宇留生小学校  
郡上市立明宝小学校/岐阜市立青山中学校
- 11 特集 「社会の変化とこれからの子育て」後編
- 17 みんなで家庭教育!  
岐阜県環境生活部環境生活政策課
- 18 先生!ありがとうございます!  
保護者から先生へ贈る感謝の400字メッセージ  
荒城 真弓
- 19 「多様性尊重の教育②」  
みんな、いっしょに 安田 和夫
- 21 保健室ノート 成瀬 ゆかり
- 23 私の先生④ 杉山 亮
- 25 わが家の宝物 中島 卓巳
- 26 リレーエッセイ⑩ 市原 善典

- 27 子育て半生記 堀井 知弘
- 29 楽しい読み聞かせ⑮ 大野町立西小学校PTA
- 31 親の背中⑩ 山田 仁美・鈴木 尚己
- 33 私が出会った1冊の本【続51】  
北村 美由紀・杉野 真平
- 35 子の思い かねまつ あゆは・瀬藤 尚歩・水口 雄惺  
親の願い 船戸 健太郎・井上 あつ子  
教育の窓 渡辺 裕之・加藤 隆広
- 40 話そう!語ろう!わが家の約束 梶田 清仁・足立 久
- 41 親子ではてな
- 42 お試しクッキング  
岐阜県学校栄養士会・(公財)岐阜県学校給食会
- 43 ふるさとの伝承 大垣市立南小学校
- 45 きらり!キッズ! 関市立洞戸小学校
- 47 夢中!熱中!我らが部活 本巣市立本巣中学校
- 49 私たちのPTA 可児市立今渡北小学校PTA

三井住友海上は、持続可能な社会の実現に取り組みます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# SDGsで 人と自然をつなぐ

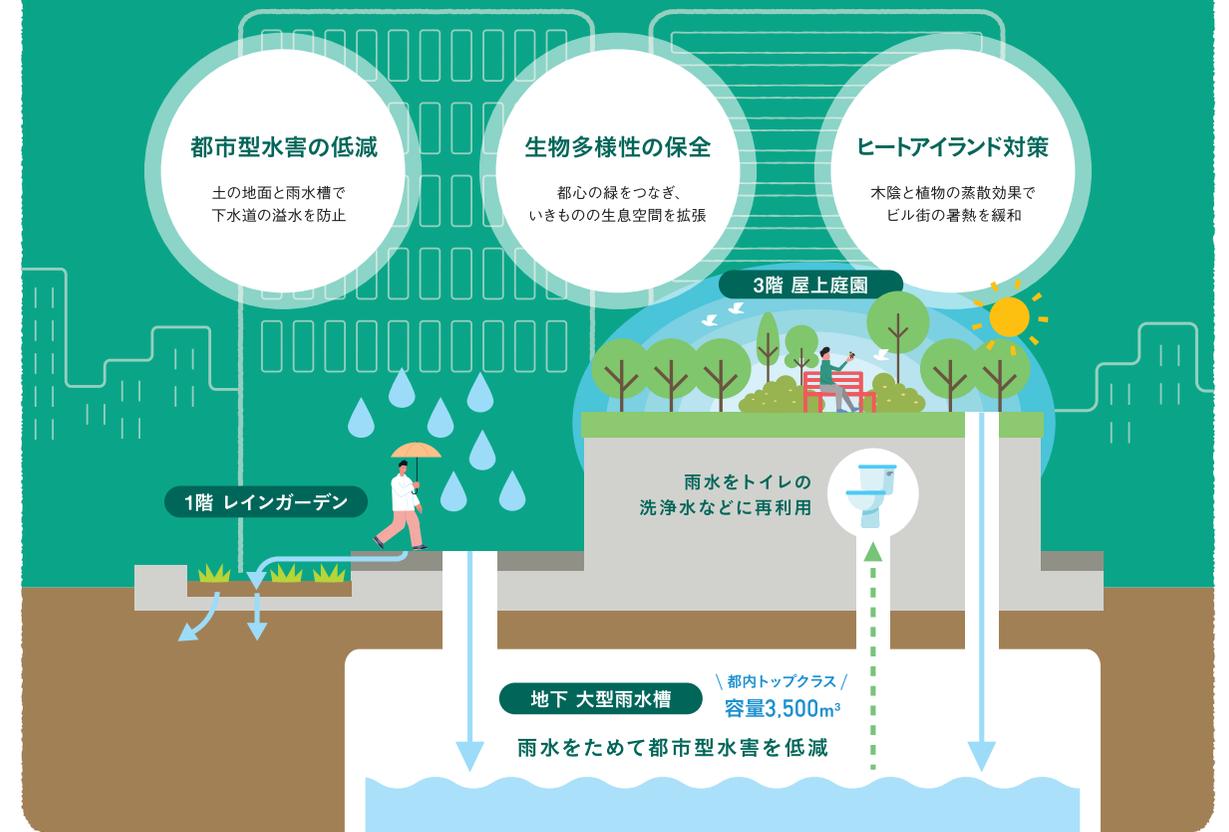


東京都の保護上重要な野生生物種「レッドリスト」に登録されている「ヒメアマツバメ」の営巣が確認される

駿河台ビルでグリーンレジリエンスに貢献

三井住友海上駿河台新館(東京都)

三井住友海上駿河台ビル(東京都)



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会\*をめざします。  
\*外部環境にシナヤに対応する、持続可能な社会



# 記念講演 「社会の変化とこれからの子育て」

後編

横浜創英中学・高等学校校長 工藤 勇一さん

## みんなで同じ目標を 確認する場所を作る

■ 麹町の教育目標は、自律と尊重という二大教育目標です。それを入学前から保護者の方に言います。「自律というのは、自分で考えて自分で行動できることです。だから、補習なんかはやりません。でも子どもが求めてきたら、その子にはやりません。覚悟して来て下さい。」と言います。でも、必ず子ども

の自律を復活させますからということですね。「尊重というのは、自分のクラスに問題の子がいてパニックになる子がいる、暴れる子がいる、みんなに迷惑をかけるかもしれない。その子がいたとしても麹町中は絶対排除しません。子どもたち同士がトラブルになりながらも、どうやったら解決できるかを子どもたち

に考えてもらいます。だから覚悟して来て下さい。」って言いませう。学校が変わるために、一番上である物を合意すると学校が変わるんですね。みんなが自分の価値観で勝手なことを言っていて、上位にある物が定まらないと、要求ばかりでぐちゃぐちゃになります。麹町中はそれを整理していったということですね。本物の最上位目標が分かれば、それを実現するための手段をみんなが相談するべきです。違う方法はないか、今までの方法は間違っていないかということをお互い

で話しかければいい。そして、その手段が上位の目標の実現を損ねていないかといったことをみんなで吟味できればいい。

■ 麹町が行っている学校評価ですが、たぶん岐阜で行っている学校評価とだいぶ違います。何故かというところ、アンケートをとったりすることではないから



横浜創英中学・高等学校校長。山形県で数学の中学教諭を五年務めた後、東京都台東区の中学校に赴任。その後、東京都や目黒区の教育委員会、新宿区教育委員会教育指導課長などを経て、二〇一四年から六年間、千代田区立麹町中学校の校長を務め、教育改革に取り組む。現在、内閣官房教育再生実行会議委員や経済産業省「EdTech」委員などの公職も務める。

■ 麹町中の教育目標は、自律と尊重という二大教育目標です。それを入学前から保護者の方に言います。「自律というのは、自分で考えて自分で行動できることです。だから、補習なんかはやりません。でも子どもが求めてきたら、その子にはやりません。覚悟して来て下さい。」と言います。でも、必ず子ども

## 自分事に考えることができる 集団に変える

■ 実践の具体を紹介します。まず、横浜創英に昨年の四月一日に着任しました。三月三十一日までは麹町中の校長だったので、三月三十日に横浜創英に指示だけ出しました。当時は全国が緊急事態宣言です。学校は休校状態でした。四月一日に可能な限り全教員を集めて下さいと指示だけしました。僕がやるうとしたことはたった一つです。全教員を当事者に変えること





みんな「えーっ」って言いますね。「じゃ、どうすればいいんだろう。優れた人がいるんだよ。こういう人だよ。彼は、三日坊主になるというをよく知っている人だから、子どもの頃からルーティーンというやつを作ったよね。ルーティーンというのは、続けられないから続ける手法として編みだしていくものなんだな。」

そういうものが得意な人はいっぱいいます。大谷君もそう、ダルビッシュも。大谷君だったら、マシダラトっていう物を書いて、常に自分の部屋に貼っておいて、その目標を繰り返して繰り返して、つまり忘れる自分を知っているから、思い出す方法を使っているんですね。これも脳科学に沿った考え方ですね。メタ認知能力って言います。自分を見つめて自分だけの仕掛けを作る、これができる子どもたちが自分を成長させることができるんですよ。

行動を繰り返していると、悪い



が自己決定できないというのは、心的な安全状態を保たれないということなんです。いつも、あれをなさい、これをなさいと指示される。そういう子どもは自己決定できません。自己決定できない子どもは、他人のせいにするのができると言いましたね。朝起きられない子どももいて、お母さんが心配で遅刻してはいけませんよ、起こしに行くんですよ、毎朝毎朝。ちっちゃい内はいいんですけれど、だんだん大きくなり、起こしに行く、「うるせーよ」って言いますね。わざわざ与えてくれているサービスに対して、その質に不

満を言う子どもができる。自律を失った子の特徴です。「じゃ、放っとくよ。好き勝手にやって。」って言うんですね。そうすると遅刻したりして、「なんでお母さん起こしてくれなかった。」みたいなことを言ったりする。そういう状態というのは、自己決定していないので、心的安全状態が保たれないんですね。麹町中では、様々なトラブルが起こるたびごと、または普段から、この三つの言葉かけることになったんです。「どうした？なんか困っている事あったのか？」授業中飛び出したんですよ。「いや、あの先生僕嫌いだから出て行った。」みたいなこと言うわけですね。「そうなんだ、この後、君はどうしたいの？」と聞くんですね。意思決定を聞くんです。なかなか言えないんですけど、三つ目の台詞を付け加えるんですね。「僕に何か支援してほしいことある？」と聞くんです。分かれますよ、ね、心的安全状態が保たれますよ。そんな失敗をしても心的安全状態をフォローしてくれる、それだけじゃない、自己決定するんですよ、この三つの言葉で自己決定せざるを得ないんです

よ。三つ目なんかは、授業飛び出した子どもに「そうだな、僕がせいぜいできるとしたら、別室を用意することくらいできるよ。だから、君は今から教室へ戻って、今の授業を我慢して受けるか、または、僕が用意した別室に行つて、そこで何か別のことをやっているか、そんなこと選択ができるかどうか、そんなこと選べるよ。」とどうする？」と言うと、子どもは「じゃ、別室に居させて下さい。」って言うわけですね。もう授業を邪魔するからおまえ別室にいろと連れて行かれた子どもと、別室に居させて下さいって言った子どもとの心的な状態分かりますよ、ね、連れて行かれた子どもは「うるせえ」って恨む子どもになるわけです。全く違うということなんです。自己決定の積み重ねが自己肯定感を高めるんです。これ、家でもすぐできます。子どもにこの三つの質問をすればいいんですね。

自分を見つめて 自分だけの仕掛けを作る

ポイント二つ目です。環境に強い脳を作るといふことですね。環境に強い脳を作るためには、もう



行動でも意識しなくても繋がっていく。残念ながら、人間の脳というのは、自分に都合の悪い物には敏感なんです。失敗経験をいつまでも思い出します。繰り返し繰り返し思い出します。何故かという、失敗したくないからです。そういう風に人間の脳はできていく。それだけじゃなく、人と比べていく風になります。特に思春期の子どもは人と比べて劣等感を持ちます。うらやましくなったり、妬んだり、悪口を言いたくなったりします。子どもたちにこう言います。「悪口言いたくなったりする人はいませんか。あれ、自然なよ、普通

行動を繰り返していると、悪い

一人の自分を作ることだよって教えます。三日坊主になったことある人って聞くんですよ、すると全員が手を挙げます。そんな時どんな気持ちで聞くと、「私ってだめ」っていう、「そうだな、でもな、大人にこの質問すると、大人も全員手が挙がるんだぞ。何故かというとな、脳ってもともと新しいことが大嫌いにできているんだって。何でかっていうと、もともと回路が繋がっていないことをやるっていうのは大変なのよ。だから、普段使う物だけ、回路を残して太くして、使わない物は切っていく。実はね、その脳っていうのは十歳までできるんだって。だから、十歳までは三日坊主は起こらないんだよ。何でもかんでも色んな事ができるんだけど、十歳になると大人の脳になっちゃって、使う物と使わない物を切り分けるんだってよ、せっかく身に付けた力もずっと使わないと切れちゃう。だから、君が悪いんじゃないんだよ。それじゃ、三日坊主を克服する方法っていうのは、たった一つしか無いってことだよな。回路を作るってことだから、続けるしかないのよ。」って言うよ、

通のことなんだからな。でもな、繰り返していると、そこに回路ができるから、ネガティブになって人の批判ばかりする人間になってつまんなくなるよな。ということ、その自分を変える必要があるんだよ。変えるためにはね、ネガティブな自分を、仕掛けを作つて望ましい行動を繰り返す、その工夫をすれば変えられるよ。心を変えようと思つても変わらないんだよ。こういうことを繰り返すことによって変わるんだよ。これが脳のしくみだ。」って教えます。自分のことを俯瞰的に見て、良い方向に書き直す能力のことをメタ認知能力と言います。この力を付けさせていくのが教育にとってとても重要であるということですね。

今日、僕の話を書きかけにですね、ゼロから考える習慣みたいなもの、みんなで共通の目的を持つこと。それをぜひ、岐阜のあちこちの小中学校で進めてもらえればと思います。

どうもありがとうございます。

家庭で子どもに教えたことや、育みたい力など、家庭教育のヒントになる情報をお伝えします！！

# みんなで家庭教育!

## 子どもへの言葉かけは具体的に!

父「そこに座りなさい」  
子「……」(座る)  
父「なんでこんなことした!」  
子「お兄ちゃんが叩いたから、やり返そうと思って叩いたら手が当たって壊れた」  
父「家の中で暴れたらこうなることはわかってるだろ!」  
子「……」  
父「どうしたらいい」  
子「……」  
父「黙っていちゃわからん」  
子「……」

「ごめんさい」と言えば許すつもりだったのに、沈黙が続きます。子どもは固まったままになってしまったので、一旦時間をおくことにしました。その日の夕方、子どもに「あの時、なんで何も言えなかったの?」と聞くと、「頭の中が真っ白になって、何を言ったらいいのかわからなかった」と言うのです。私が頭ごなし



に大声で叱りつけたことで、子どもはパニックになってしまったようです。子どもを叱った時、子どもが固まって何も話さなくなることでありませんか? 具体的な指示や説明に心がけましょう。子どもに指示をしたり、話をしたりする時に、親の思いだけで話をしてしまう時があります。伝えたいことが子どもになかなか伝わらない時に「もっとしっかりと話を聞きなさい!」とか、周りの状況を気にせず、大きな声でしゃべっている時に「しゃべるな!」と言う事があります。こういった言葉や言い方は、子どもにとっか分からなかったり、ただ怖いというイメージをもつだけになってしまったりすることもあります。「もっとしっかりと話を聞きなさい」の「しっかりと」の意図は、「相手が何を伝えたいのかと考えながら聞く」という事ではないでしょうか。でも子どもは「しっかりと」という言葉

きつく言われると焦ってしまい、「相手の顔を見る」という形だけになりがちです。また、「しゃべるな!」という指示の意図は、「みんながいる場所では、周りの人たちの気持ちや状況に配慮して、静かにしたり、声の大きさを加減してほしい」という意味です。しかし、その意図が伝わらず、ただ「話してはいけないのだ」と委縮してしまうこともあります。「意図」を話すとき話さないとは子どもとの受け止め方は全く違うものとなります。子どもが「意図」を受け止めるアンテナの感度は様々で、察することができると場合とそうでない場合があります。人にもよりますが、その場の体調や環境にもよります。できるだけ丁寧詳しく伝えていく事を心がけると、子どものアンテナが発達していろいろな言葉、言い方に対応できる子になってきます。また、叱られて子どもが何も言えなくなっているときに、一旦中断し、時間をおいて聞く対応は、「タイムアウト」ともいわれます。子どもはクルダウンし、自分の事をふりかえり、考えることができるようになります。タイムアウトにより、子どもが追い詰め

られて、「自分は悪い子なんだ」と思いこんだり、親子の関係に影響を与えたりすることを避けることができます。さて、このように、子どもへの声かけについては、丁寧な説明が必要なのですが、二歳までは脳の発達から「なぜいけないか」を説明しても理解できない場合が多いと言われています。しつけをしようにしても難しい「魔の二歳」です。そのため、親にとっても苦労が多い時期となります。

県が作成した「家庭教育プログラムみんな子育て」には、このような、子育てについて学べる資料がたくさん掲載されています。岐阜県の家庭教育のホームページにありますので、ぜひご覧ください。

環境生活政策課家庭教育推進専門職  
河野和彦



家庭教育プログラム



https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13307.html

## 先生!ありがとうございます!

保護者から先生へ贈る感謝の四〇〇字メッセージ

昨年度よりコロナ禍のため、先生方におかれましては通常業務に加え、感染防止対策を徹底していただきありがとうございます。

昨年の修学旅行は中止となりましたが、校長先生からその経緯を聞き、最後の最後まで行かせてあげられないかと検討してくださったことを知り、大変ありがとうございました。

そんな中、中三の子ども達から、「修学旅行の代わりに校内でイベントをやらせてほしい」との意見が出ました。それぞれグループに分かれて楽しめるブースを作り、それを小中の縦割り班でまわるといいます。藍川北中、藍川小は昨年度より小中一貫校となり、小中全体で一つに取り組むという初めてのイベントになったのではないのでしょうか。この「北藍祭」というイベントは子ども達の提案で始まりました。子ども達は自ら考え行動し、かけがえのない経験をしたことと思います。先生方には子ども達の提案を受け入れ、見守り支えてくださったことに心から感謝します。

(荒城 真弓・岐阜市立藍川北中学校PTA会長)

### information

#### ■作品を募集しています。

イラスト・なぞなぞ・逆言葉などの作品を募集しています。イラスト・絵手紙はハガキの裏面に描いてお送りください。ペンネームを使う場合にも、郵便番号、住所、学年と氏名を表面に記載してください。なぞなぞ・逆言葉は「親子ではてな」の回答とともにお願いします。

#### 宛先はいずれも

〒500-8816 岐阜市菅原町3-3  
岐阜県校長会館内「岐阜県PTA連合会・作品係」まで

採用の方にはお礼をさしあげます。

#### ■本誌の購読について

本誌は年間5回発行(7・9・11・1・3月)されます。年度初め(4~5月)と7月の2回、各学校PTAを通じて購読募集を行います(1冊200円、5冊1,000円)が、年度途中でもお求めいただけます。学校または県PTA事務局へお問い合わせください。

#### ■1月号のお知らせ(予告)

特集=早寝早起き朝ご飯(全国協議会)/表紙=坂下中/学校のたからもの=下呂小・西小・中小・南ヶ丘中/わが家の宝物=七郷小/リレーエッセイ/みんなで家庭教育/みんな、いっしょに/保健室ノート=福寿小/私の先生=海西小/子育て半生記=明方小/楽しい読み聞かせ=笠松小/親の背中=古井小・恵那北中/1冊の本=新宮小・陽南中/わが家の約束=青墓小・第一中/子の思い=川島小・いわ桜小・東安中/親の願い=富岡小・島中/教育の窓=川辺北小・北陵中/先生!ありがとう! =宮川小/お試しクッキング/ふるさとの伝承=稲羽西小/きらり!キッズ!=東小/夢中熱中!我らが部活=駄知中/私たちのPTA=生津小

## 「車椅子フェチ」って、す・て・き!

岐阜聖徳学園大学教育学部特別支援教育専修 教授 安田 和夫

## パラリンピックの見方もいろいろ

開催にあたっては、賛否両論ありましたが、東京パラリンピックは閉幕しました。

アスリートの前向きな姿や最後まであきらめない姿に感動した方もあるでしょう。開会式、閉会式の多様性を前面に出した演出に魅了された方もあるでしょう。一方、「障がいのある人も努力すればこんなに活躍できる」というステレオタイプの熱狂にとまどい、苦しむ障がいのある方やそのご家族もあったでしょう。「精神障がい」などが、「パラリンピック」の枠組みにまだ入っていないことを再認識し、蚊帳の外にいらっしゃるような社会的孤立感を深めた当事者の方もおられたことと思います。こうしてパラリンピックに対する見方はいろいろです。いろいろであってよいと思います。

ただ、一つの願いとして言えば、日本で開催されたことをきっかけに、これからの共生社会のあり方について、みんなで継続的に議論していけたらいいなと思います。

## 「車椅子フェチ」の萌々花さん

そんな中、車椅子バスケットや車椅子ラグビー、車椅子マラソンなど、車椅子を巧みに使い、最大のパフォーマンスを見せてくれる競技を夢中で見ていた萌々花さんがいます。本学教育学部の二年生で、将来は、心理の分野に進みたいと願っています。彼女は、「クリッペル・トレノネー・ウエーバー症候群（混合型血管奇形）」という難病のある車椅子ユーザーです。

車椅子といえば、役場や学校、病院など、様々な公共施設にある標準タイプの車椅子をイメージするのですが、車椅子を日常生活で使っている子どもや青年達は、体格や疾患の特性にあわせてカスタマイズされた車椅子を使っていることがほとんどです。自分の好きな色のパーツを組み合わせていたり、アニメキャラクターのデザインであったり、自分の身体の一部として「宝物」のように大切にしています。先日、出会った男児の車椅子の場合、「エヴァンゲリオン」色のパー

ツでできており、車椅子に乗っている男児が、まるで機体の操縦席にいる主人公のように見えました。

パラリンピックでは、皆さんもご存知のことと思いますが、それぞれの種目特性や役割にあつた競技用車椅子がありましたね。私も、以前、オリンピック・パラリンピック関連行事があつた際に、バスケット用、マラソン用の車椅子に乗せてもらいました。コーチ役の方から丁寧に教えてもらいながら動かすのですが、ボールを抱えながらターンすることも、止まってシユートすることもうまくできなかったことを思い出します。同時に、車椅子を自在に動かしている選手が

とてもかっこよく見えました。それでは、萌々花さんは、何に魅入られていたのでしょうか。選手の活躍も楽しみでしたが、それ以上に、車椅子そのものに注目していたそうです。そう、萌々花さんは、「車椅子フェチ」なんです。自分の使っている車椅子への愛情はもちろんのこと、テレビ画面で見る車椅子の美し

いフォルムに、ついつい目が奪われるのだそうです。

先日も、私のゼミ生とのリモート交流会でも、萌々花さんが集めている車椅子フィギュアを画面越しに披露してくれました。私も含めて、ゼミ生一同、目を点に見入っていました。車椅子のフィギュアがあるなんて知らず、初めて見るからでした。精巧に作られたフィギュアは、大手通販でも購入できるそうで、車椅子フィギュアをコンプリート買いたそうです。コレクションとして、車椅子フェチも、ここまでくればすごいと感じるとともに、そのコレクションをもっともっと身近にとって見てみたいとも思いました。

交流会が終わった後、お礼をかねてメールをやりとりしたので、萌々花さん自身が、「もつと車椅子のことを話したかった…。」と、とても残念がっていた時には、ついつい笑ってしまいました。こんなふうパラリンピックを楽しんでいた人もいたのです。

## 萌々花さんの願い

この萌々花さんの今の願いは、多くの人に、自分の日常生活を知ってもらい、難病への理解を広げていくことだと言います。現在、「二十歳になる萌々花さん」をテーマに、あるテレビ局のドキュメンタリー番組の取材を受けているそうです。そして、日記を書くように、日常の様子を録画用のカメラで自撮りしている最中だと聞いています。きっと、朝夕の家族との会話、リモート授業や友達とのオンライン交流風景、車椅子フィギュアを眺めている表情など、ほのぼのとした日常もあれば、自宅リハビリの様子や痛みをこらえている様子など難病と向き合う日常生活が紹介されることと思います。成式が終わってからしばらくした頃、放映される予定だそうです。今から楽しみにしています。

さて、私は、学生支援の立場から、萌々花さん、そして、ご家族と関わっていますが、いつも心がけていることがあります。簡単に「わかるよ」とは言わないことです。ご本人やご家族の願いや要

求を理解することは大切なことですが、萌々花さんやそのご家族と同じ立場、同じ経験ができるわけではなく、まして、二十一年間に及ぶ萌々花さんとご家族のことを到底、「理解」できるとは思えないからです。だからこそ、いつも新鮮な気持ちで話を聞くことができます。

今年になってから、混合型血管奇形患者の当事者やご家族の手記本を大学に持ってきていただいたので、何回も読ませていただいています。「泣いてばかりいられない―混合型血管奇形の患者と家族の手記―」（混合型血管奇形の難病指定を求める会）という本です。十年前の本なので、現在は書店で入手できないかもしれませんが、図書館などにあるのではないかと思います。萌々花さんのお母さんは、「混合型血管奇形の難病指定を求める会」の会長を務め、運動の先頭に立ち活動をされ、難病指定を受けた後も、「混合型血管奇形の会」の会長として、力強く全国の仲間をリードしておられます。

## 難病のことを知ろう

「世界希少・難治性疾患の日（二月末日）」があることをご存知ですか。この日を中心に、難病の理解啓発の取り組みやイベントが繰り広げられますが、多くの公共図書館、大学図書館でも、「難病図書フェア」を組んでいます。このフェアになると、本学図書館では、特設コーナーが設けられ、何冊かの関連の本が紹介されます。難病は、「希（まれ）」だから知らなくていいのではなく、周囲が正しい理解と対応を学ぶことで、「希少」の「希」を、「希望」の「希」に変えることができるものだと思います。

パラリンピックも同じですが、私たちが、「障がい」や「難病」などについて、少数のことだからと遠ざけるのではなく、この時代を共に生きる仲間のこととして、関心を寄せ、「知りたい」と思い続けることによって、誰にでもやさしい時代に近づくのではないかと思います。



## かけがえのない名前 かけがえのない命

福岡中学校の保健室の正面の壁には、本校の生徒全員百七十八名と本校に携わる全職員の名前と誕生日が月ごとに掲示してあります。毎年この掲示物を作成する事に私なりの理由があります。それは、かけがえのない命を大切にしたいという気持ちと、この掲示を通して学校内で仲間の誕生日を知り、声を掛け合い、全校で温かな人間関係が築

き合えたらという思いです。毎朝の生徒玄関での健康チェックでは、玄関に立つ職員は、保健室に立ち寄りこの日の誕生日の生徒を確認し、登校したその生徒に「誕生日おめでとう」と声をかけています。当人は照れくさそうに「ありがとうございます」と返事をし、それを近くで聞いていた他の生徒からも声をかけられています。職員も生徒から誕生日を祝福され、苦笑いをしている光景があります。誕生日は、子どもにとっても大人にとってもその日は特別な日。心地のよい一日となります。実はもう一つこの掲示物を作成する

理由があります。それは、私ができるだけ早く生徒の名前を覚えるためです。四月に入学する生徒の名簿ができることさつそくこの作業に入ります。直径十センチほどで丸く切った画用紙に、一枚一枚、一人ずつ名前と誕生日を書き入れます。この時、字を間違えないように丁寧に書いていきます。この名前を書く作業をしながら、名前に込められた家族の思いや健やかに成長してほしいと願う家族の姿が見えてくる気がするのです。そしてこの生徒はどんな生徒なのだろうと想像が膨らみます。まだ見ぬ一年生ですが、この作業をしながら温かい気持ちを感じられるよう

なひとときが私は大好きなのです。

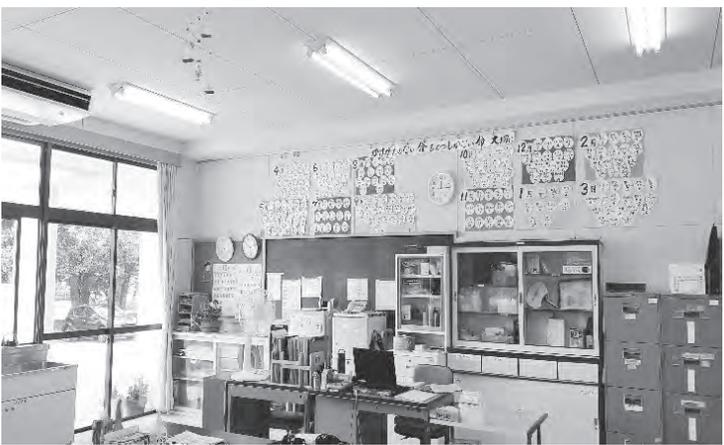
四月は、養護教諭の執務の中で多忙な時期ですが、この作業は優先順位が一番で、四月のスタートにはこの掲示物が完成し、保健室の壁に貼っていない

の先生から呼んでもらうと少し驚いた様子を見せる生徒もいますが、私にとっては、生徒との関係をつくる近道でもあります。振り返ってみるとこれまで何人の子

唯一無二の名前と誕生日でこの学校に確かな存在の証として保健室に掲示することに意味を込めています。さて今日は誰の誕生日なのでしょうか。

くてはならないのです。そして新年度がスタートすると、関わる生徒にはもれなく名前を聞き、掲示物にある名前と合わせた時、「あっ、あの名前の子はこの子なんだ」と確認すると、ついその生徒に名前の由来を聞いてしまいます。ときには私と同じ誕生日の生徒もいて、名前が並ぶ掲示物をお互いに見て笑いかけます。顔と名前が一致すると、不思議と早く覚えることができるのです。二度目からは廊下ですれ違わずに私から「〇〇さん」とすぐに名前をかけることができます。一年生にとっては、早々に名前を担任以外

どもたちの名前を書いたのかと思います。学校の規模が大きく掲示がでない時もありましたが、児童生徒の名前を覚えるということは、心と体の健康に向き合う養護教諭として児童生徒や保護者から信頼され、頼りになる保健室と関わってほしいと思っています。また、名前を覚えることで親としてわが子の名前に込めた深い愛情を確認し、この生徒の家族やこの生徒と関係のある人たちの背景に思いを馳せ、困った時には、生徒とその家族に寄り添える手段を得たように思います。そして、



## 夢を語る先生

下呂市立萩原南中学校  
教諭 杉山亮

幼い頃から鉄道が好きで、将来の夢は電車の運転手になること。中学三年生までこの夢が揺らぐことは無かった。そんな私が今、教員として働いているのは、中三の時に赴任して来られたN先生との出会いがきっかけである。N先生と私の関わりは、部活動の顧問と生徒としての一年間だけであった。しかし、その一年間の関わりを通して、十五年間もち続けてきた「電車の運転手」という夢が「学校の先生」という夢に変わった。自分自身のことながら、たった一年間一緒に過ごしただけで長年もち続けてきた夢が変わってしまうなんて、出会いとは本当に運命的だと改めて感じる。

N先生はとにかく夢を語られる人であった。着任式の挨拶では、「先生はスポーツが大好きです。夢は地域総合型スポーツクラブを作ることです。」と話された。中三になったばかりの私は訳の分からない話で、「とにかく熱い先生」という第一印象であったが、その時にN先生が語られた「地域総合型スポーツクラブ」の夢は、数年後実現されていた。

N先生は部活動の陸上競技の指導の場面でも多くの夢を語られた。そんなN先生がある日突然、「決めた！今年はリレーで全国大会に行くぞ！」と言われた。さすがにその言葉には驚いた。私自身は個人種目でやっと県大会に出られるレベルであったし、チーム自体もそんなレベルには無かったからだ。私をはじめチームメイトは一樣に「そんなの無理だろう。」という雰囲気であったが、N先生は毎日全国大会へ行く夢を語られた。「君があと〇・二秒記録を伸ばせば絶対全中に行ける！今年の全中は北海道開催だから、そこへ行っていっぱい蟹を食べよう！」本当

に毎日、毎日夢を語られた。人間というのは不思議なもので、毎日前向きな言葉をかけられるとその気になってくるものである。私やチームメイトは、いつしか本気で全国大会を目指していた。全国大会の切符をかけた大会で、私たちのチームは二位と〇・〇七秒差の接戦を制し、見事にその切符をつかみ取った。陸上競技で〇・〇七秒と言えば、一mも差が無い大接戦であった。先生が私たちに夢を与えてくれなければ、その接戦を勝ち切ることは無かった。本当に嬉しかった。そして、大きな達成感、感動を味わった。

それから、私はN先生のような子どもに夢を与えることができる先生になることを志した。そして、教員としてN先生と再会することができた。しかも、同じ学校での勤務となった。「子どもを積極的に地域で活動させたい。地域の方の力を借りればきっと、もっと多くの力を子どもに付けさせてあげることができる。」管理職となられたN先生は、やはり教育に対して多くの夢を語る先生のままであった。N先生と話していると、中学生の頃に味わったわくわくした感覚が蘇ってきた。しかし、私はN先生から厳しく指導を受けることも多くなった。私の子どもに対する指導の甘さをことごとく見透かしていたのだ。思い返してみると、N先生は昔から頃私たちに對する部活指導でも、育成会に働きかけて練習環境を整えたり、先進的な練習メニューを提示したり、共に走ったり…。本当に様々なことをしてくださった。子どもが学校という場で楽しく学び、そして確かな力を身に付けて巣立っていけるよう、N先生はいつも知恵を絞リ、そして自ら先頭に立って行動しておられた。N先生と共に働かせていただく中で、人に何かを教える、伝えていくという行為は小手先ではなく、そのためにいかに教師が考え、動くことができるかということを学ばせていただいた。

現在はN先生と別々の学校での勤務となったが、N先生から子どもへの頃にいただいた感動、教師になってから教えられた教育に対する感覚は現在の自分の糧となっている。

## わが家の宝物

わが家の宝物は、昨年十一月にうちに来たトイプードルのモカです。以前から家族で犬が飼いたいと話してはいましたが、思うところもあり、なかなか飼うことが出来ずにいました。しかし、ふとしたきっかけでモカを迎え入れることとなりました。

それからは生活も様変わりし、モカ中心の生活となりました。娘が小さかった時のことを思い出します。こんなにお転婆ではありませんでしたが(笑)

最近、子どもが大きくなってきて家族がそれぞれの時間を過ごすことが多くなってきましたが、モカが来てからは家族で散歩に行ったり遊んだり、以前よりコミュニケーションの幅が増えたように感じます。

一人っ子の子どものには妹のような存在として、今までは見られなかった自分のことより優先する気持ちや、しっかりとしないとけないという責任感が芽生えてきているように感じます。

今では本当にモカを迎えることが出来て良かったと家族全員が思っています。

また新型コロナウイルスが収まったらモカも連れて家族で何処かへ出かけたいなと思っています。

ありふれた日常ですが、その日常がわが家の一番の宝物なのかもしれません。



# リレーエッセイ 16

山県市立高富中学校PTA

市原 善典



### 我が家にとっての陸上競技

陽南中学校PTAの辻氏に引き続き、「陸上競技つながり」でのリレーエッセイとなります。

中学二年生の子どもが小学四年生の時に我が家ではテレビ番組「逃走中」が流行り、交代にサンングラスを掛けては「ハンターごっこ」に夢中になっていました。走ることが好きな子どもと私自身も陸上競技経験者という事が重なり、親子で練習できる陸上クラブチームに入り早五年が過ぎました。現在も時間が合えば一緒に練習に参加しています。クラブの小学生や中学生や高校生と一緒に練習するだけでも若返ったような気になり、元氣とパワーをもらっています。

実は私も四十歳を機にマスターズ陸上の登録をして十八年ぶりに陸上競技に取り組んでいるところです。「現役時代のキレキレの身体の動き」と「四十歳を過ぎて徐々に衰えていく身体の動き」のギャップに日々悩んでいます。日に日にタイムや計測距離が成長していく子どもは羨ましい限りです。ただ、マスターズ陸上は定期的に大会や記録会があるので良い目標設定ができますし日々の生活にも張りが出ます。

ここ二年間はコロナ禍で子どもの陸上競技の各大会も中止や延期、開催しても無観客です。子どもは陸上競技を通じてチームメイトを大事にしたり、自己ベストが出て喜んだり、思っていた成績が残せずに悔し涙を流したりと着実に成長する事ができていると思います。

最後にコロナ禍的环境下でも陸上競技に取り組ませて頂ける学校や部活動関係者の方々、陸上競技の各大会を開催して頂ける岐阜陸上競技協会関係者の方々に心より感謝申し上げます。



次回は... 岐阜市立島中学校PTA 福井 究さん

## 心が動かされて、繋がるということ

「夏休み」という言葉は、大人になっても少し特別な感情が湧いてきます。勤め人になりますと、八月は祝日に加えて少し休業日が増えるだけで、年末年始の休業日と同じような日数のお休みであり、子どもたちのような約四十日間の休みが頂ける訳ではありませんが、なぜだかポジティブな感情が湧いてきます。

なぜでしょうか？  
きっと、子どもたちの楽しかった思い出や、宿題に追われた最後の一週間の苦しい思い出など、全てが良い思い出として自分の記憶に残っているからではないかと思えます。

その、楽しいはずの夏休みですが、昨年続き、今年もコロナ感染症が拡大し、否が応でも毎日のニュースでそれを知ることになり、また自分たちの住む地域にまで影響が広がってきました。きっと子どもたちも窮屈な思いをしているかと思っていました。案外、子どもたちは、家の中や庭でそれなりに自由に振舞っている姿を見て少し安心したりもしました。

夏休みの間に、小学六年生の長女からは、夏休みが終わったあとの運動会の話や、修学旅行について、とても楽しみにしていることなど、話を聞くことがありました。彼女には二歳上に兄がいますが、その兄の世代が運動会でやっていいことをよく覚えており、自分たちもそうなりたいたいと心に秘めているようでした。

私が小学生の時も、運動会では六年生の団長のかっこいい姿、準備期間中でも輪の中心にいる姿に憧れ、自分もそうなりたいたいと思ったりしたものです。

身近な人の行動を見ることで、感動や憧れという心を動かされる現象が生起し、そして、自分がその立場の時になった時には「こんなふうになりたい」、あるいは「あの人がみたいになりたい」と思うこと、その連鎖が、「年代間の繋がり」になっているのだと、子どもたちとの会話の中で気づかされました。

また、行事やイベントは本番の時だけでなく、準備活動において、人とコミュニケーションすることで心が動かされ、その感動の連鎖がつながりになるということをあらためて再確認した今年の夏でした。

これから先の時間において、様々な行事やイベントは、全く二年前までと同じ形で出来ないかもしれませんが、形を変えてもその趣旨を失わず、子どもたちの「心を動かされる機会」は失われたいようにしたいと思います。

また、昨年は突然のことに、「中止」という選択を多用した我々大人ですが、「感動し、繋がりを得た」経験を持つ世代として、今年からはアレンジし、変化

中学二年の長男は、昨年の入学当時から、小学校との違いとして、運動会や部活についてとても楽しみにしておりました。長男からは、私が中学生だった時のことを質問されることもあり、私が中学校や高校で、体育祭の時に三年生の指示のもと、手の込んだ創作物を作ったり、応援ダンスの練習をし、当時の三年生の指導する姿や、計画性がとても大人びて見え、憧れを抱くと同時に、自分が三年生になったら、どんなことをしようなどと、友達と話し合った経験を話しました。

また、私たち両親は、自分たちが中学生だった頃の部活遠征の話をしたり、当時は厳しい指導方法がまだまだ通用しており、苦しかった経験など、それでも楽しい思い出のエピソードとして話をしたことも、長男が部活を楽しみにしていた理由のひとつになったことだと思えます。

しかし、長男が中学一年の時、運動会は中止になりました。また、中学二年の今も、私たち両親から見ると限定的な運動会の形式になるようです。

中学二年も半分過ぎようとしている今、まだ、かっこいい上級生の姿を見ることが出来ておりませんし、まだ、憧れの対象となる先輩のリーダーシップにも触れていません。

三年間を過ごす中学において既に、大半の人間が以前の運動会を知らない世代となり、もし、コロナ禍が収束しても、「去年はこうだったね。」「一年の時はこんな感じだったよ。」と言いながら子どもたちが自主的に活動することも難しくなるかもしれません。

に対応する柔軟性を見せることが出来なければならぬいなと、自覚を新たにしました次第です。

かっこいい人生の先輩であるためにも。



昨年の運動会は中止になったため、5年生は練習したソーラン節をクラス毎に発表しました。背中の文字は子どもたちが作成しました。



PN. キャプテンハンマ (高山市)



PN. 児玉 陽菜 (加茂郡)

### question ①

出題・垣内 美由 (高山市)  
〈答えは41ページ〉

どんなに頼んでも、売って  
くれない人のお仕事は？

# 楽しい読み聞かせ 15

## 読み聞かせ大好き！西小っ子

大野町立西小学校PTA

### 地域の「和母さん」と協力して

西小学校の読み聞かせ活動は、朝八時十五分から八時三十分に行っています。

全学年を対象に、母親委員・地域の読み聞かせサークル「和母さん」、有志の保護者の皆さん、三年生の保護者の皆さんの協力のもと、月に二回楽しく開催しています。三年生では毎年、「親子読書」という形で、三年生の保

護者の皆さんが交代で読み聞かせを行います。また、学年末には「和母」の皆さんが、手作りの大きな本や紙芝居、人形劇を全校児童に楽しく読み聞かせをしていただきます。

### 本選びはどっやって？

読み聞かせをする本は、家や図書館、書店から自分や子ども達が気に入った本、季節・学年・クラスの雰囲気合った本、また

前回、気に入ってもらえた本や、自分の思い出が詰まった本などから選んでいます。本選びが苦手な方は、図書館のおすすめ本や、ネットの評価が高いものを中心に、みんなに楽しく聞いてもらえる本を探し選んでいます。

例えば今まで読んできた本は、

- 【ありがたいの本】
- 【わすれないよ】
- 【ぼくの先祖はサルだった】
- 【うまれてきてくれてありがとう】
- 【だじゃれ世界一周】



【へいわとせんそう】

【365まいにちペンギン】

【うえぎばちです】

【てっだつてあげるね ママ！】など、心がポカポカする本・笑える本・大人も感動する本・考えて学べる本と、さまざまなジャンルの本がたくさんあります。

いつも、わが子や空や景色を相手に、こども達が目の前にいる当日をイメージしながら練習してい



ます。実際に時間を計りながら、スピードや声の大きさを意識し、みんなに喜んでもらえるように、練習も楽しく頑張っています。

### 子どもたちの様子は？

読み聞かせをしていて感じることは、「読み聞かせは、子ども達を思いやりの優しい子に育ててくれる」ということと、「子ども達の想像力を豊かにしてくれる」ということです。さらに、「様々な感情を与えてくれる」とともに、「他人に共感する力も養ってくれる」と感じています。

読み聞かせによって、世界が広がり心豊かな子になってほしいと願っています。だからこそ、真剣に感想を考えながら聞いてくれると嬉しいですし、感想を貰えると

「読んでよかったなあ」「また子ども達の笑顔を見に読みに来たいなあ」と感じさせてくれます。特に、普段元気な子が、読み聞かせを真剣に聞いてくれると「ちゃんと心に届いているんだなあ」と感じます。あとたまにですが、先生方が感動して泣いてくださったり、余韻に浸ったりしている姿を見ると、やっぱり大人にも響くんだなあと思います。

### 最後に

読み聞かせに来てくれる方によって、本のチョイス、声のトーンや表情等の細かい違いが、子ども達にとっては新鮮なのかもしれません。同じ方ばかりではなく、色々な方に読んでもらうというこのシステムが、とても魅力的だと思います。



今 できること

瑞穂市立土岐小学校

PTA副会長 山田 仁美

私の親は共働きでした。母は朝出勤する前に掃除・洗濯、朝食の片付けなど完璧にしていました。また帰宅すると休むことなく、食事の支度を始め、私たちが寝るまで忙しく動き回っていました。今のようには、家事分担とかイクメンといった言葉のある社会ではありません。父の帰宅を待って夕食を家族で食べ、その後、父が家事を手伝うことはほぼなく、母が多くを担っていました。そのような母の姿を二十年近く見ていたので、私自身が親になったときも、同じようにできるものだと思います。

現在、我が家も共働きです。慌ただしい朝食を終えて身支度をする、もう出勤時間。朝のうちに掃除・洗濯をすることはとても無理です。帰宅する時間も、目標とす

今、我が子に私がどのように見えているかは分かりません。しかし、将来、親がどういう風だったかと考える時期が来たとき、「夕食を食べながら、いろいろ話をしたなあ」ということが思い出の一つとして残ってくれることを願っています。

## ありのままの親の背中

瑞穂市立栗南中学校

PTA会長 鈴木 尚己

「子どもは親の背中を見て育つ」  
子ども達は、自分で意識することなく、常に親を冷静に見ています。

特に中学生ともなると、鋭い大人の目線で私たち親の言動を分析し、様々なことを感じ、また吸収していきます。親が家庭や地域、職場等でどう振る舞っているのか、またその事がひとりの人間として尊敬できる事なのかどうか、しっかりと観察しています。ちょうど多感な成長期を迎えていることもあり、私たち親としては難しい時期と

る時間には帰れず、帰宅後は『誰か手伝ってくれてもいいのに』と、イライラしながら家事をしています。ずっと見てきた母の背中には程遠いのが現状です。そのため、母の背中をすべて追うことは諦め、『夕食時は子どもを「孤食」にしないようにする』という、この一つだけ今まで心がけてきました。私は仕事で「孤食」について話をします。そのため、自分の子にも、「孤食」という状況を作ってはいけないという思いが強くなりました。そこで、比較的時間に余裕のある夕食は一緒に食卓につくようにしています。どうしても無理な時には、子どもたちの誰かに頼んで食卓にいてもらい、子どもが一人にならないようにしました。食卓では、今日の出来事などの話をします。これを始めたきっかけは義務感からでしたが、子どもたちとコミュニケーションをとることができる大切な時間となりました。

この四月から、高校生が二人となり、帰も言えます。  
もちろん親だって人間ですから、常に完璧な大人として振る舞うことはできません。人はそれぞれ、欠点や苦手な部分を持っています。私自身もこれまで何十年とこの性格（短気、負けず嫌い）でやってきて、今更性格を変えるなんて、とても難しい話です。だからといって、子ども達の前だけい

いとところを見せようとしても、いとも簡単に見透かされてしまいます。  
それならば、自分が自信をもって、無理せず見せられる「親の背中」とは何かと考えたとき、それは、家族と一緒に過ごすことが好きで、娘や息子が生まれた瞬間から、とてつもない枚数の写真を今も撮り続けていること。

すごくシンプルかもしれませんが、親自身が家族を大切に思っていることを「親の背中」として、子ども達に示すことができれば十分じゃないかと思えます。  
今この文章を書いていて、ふと気づいたことが。私がいままで七年間、PTA本部役員を続けているのも、もしかしてこう

宅時間も遅くなりました。小学生の娘も習い事で、夕食に家族が揃うことが難しくなっていました。成長した子どもたちは一人で食べていると、ついついスマホやテレビを見てしまいます。それをさせないために、食事中、声をかけるようにしています。どのようなことでもいいので会話を始める声掛けをします。幼い頃から、夕食時は話をするとという習慣がついているからか、よほど機嫌が悪い時でない限り話をする事ができます。家族揃ってゆっくり食卓で、とはなかなかいかなりましたが、私にとっては大切な時間です。

今は毎日当たり前にある子どもとの食事の時間。子どもが家を離れると、この時間が毎日ではなくなります。その時が来るまでは、どんなに忙しくても大切にしたいと、この文章を書きながら改めて思いました。  
私は、母の姿を参考にその中から自分ができることを探して子育てをしています。

いった事が一つの原動力になっているのかなど。  
中学生ともなると、毎朝私が出勤する際もリビングで「いつてらっしゃい。」と言葉だけで、玄関まで見送ってくれることはありませんが、PTAで出かける時だけは、玄関先まで出てきて「いつてらっしゃい！ありがとうね。」と毎回見送ってくれます。小さなことかもしれませんが、PTA活動に励む「親の背中」を見て、何かを感じとってくれているのかもしれない。

子ども達の成長に、身近な大人である親の影響が大きいということは間違いありません。見方を変えれば、子ども達の目線を意識することで、私たち親も親として成長していけると思えます。

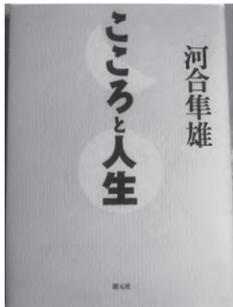
さあ、子育て期間もあと僅か！これからまだまだ「子ども達と一緒に成長していきたい。」そう思っています。



### こころと人生

著者：河合隼雄  
出版社：創元社

岐阜市立梅村小学校PTA会長  
北村美由紀



今から約二十年前、村上春樹さんと河合隼雄さんとの対談集「村上春樹、河合隼雄に会いにいく」を読んだことをきっかけに、河合隼雄さんの語り口にすっかり魅了されました。河合隼雄さんの座談が読める本がないかと探したところ、「こころ

と人生」に出会いました。河合隼雄さんは日本を代表する臨床心理学者であり、数々の著作がありますが、この本は河合隼雄さんの考え方が分かる入門書と言っても良いかと思えます。臨床心理学者の本というとなかなか思われる方も多いかもしれませんが、いくつかの講演会をまとめたもので、語り口調で書かれており、ユーモアもふんだんにあり、とても読みやすく仕上がっています。タイトルに人生とある通り、子ども時代、青年期、中年期、そして老年期と各フェーズでの人生の過ごし方や考え方がまとめてあり、私自身も何かに悩んだ際には折に触れ、気になる箇所を読み返してきました。

内容は目次を読むだけでもドキッとすることが書かれており、例えば、最初の子どものころについて書かれている章では「変革が必要な時に問題が起こる」「まず親の心が落ちついていないこと」「この目次を読むだけでも十分読んだ気になります。子どもの態度に何か問題が起きる場合は往々にして、親がその問題を引き起こしていることが多いというものでした。そして、親の問題が解決に向かうと、子どもの問題とされた行動や態度も自然と治つているというものです。この章だけでも親のみなさんは是非、読んで頂きたいと思います。そして、青年期の話では、日本の

豊かな社会で育った青年が米国の青年と比べてどうなのかといった考えさせられることが書かれており、「無気力」というキーワードが重要になっていきます。また、日本では大学に入るために勉強ばかりしていて、人間的な成長が中学生で止まってしまうという発言も気になります。この本は二十年前のものですが、受験戦争はさらに厳しくなり、勉強だけでは足りなくなっていることが心配になります。「何でも自分で考えて、大学生だったらもう完全に自分で判断して自分で行動する」というような人間を育てることが親の責務だと今回本を読み返して強く感じました。

中年期は人生の後半戦に入り、著書は最も安定しているはずの中年期に大きなころの危機に直面すると説明しています。これをスイス人の心理学者であるユングが「創造の病」と呼んでいます。この病を乗り越えようと、人ともう少し深い人間関係が築けたり、自分が知っている世界との新たなつながり方を考えたりと多くの意味を見出せるようになるそうです。最後に老年期は頂点を極めて下がつてゆくだけと思われがちですが、「人間が成熟してゆく」という点では上がつてゆく」とユングが言っているそうです。この過程は中年期から始まっているようですが、社会

の評価と違う自分だけの人生の意味、他と比較する必要がない自分だけの世界を見つけていくことが中期から老年期にかけて大切だと思っています。自己との対話において、究極の域に達することですが、自分はまだまだだなと感じています。

人生それぞれの時期のこころの問題を易しい口調で語っている内容です。親御さん向けの本ではありませんが、子どもへの接し方、自分自身の生き方など参考にして頂ける一冊です。

### 花さき山

作：斎藤隆介  
絵：滝平二郎

出版社：岩崎書店

養老郡養老町立東部中学校PTA会長  
杉野真平



「この花は、ふもとの村のんげんが、やさしいことをひとつづつ

るとひとつづつく。」私が小学生だったころ、この『花さき山』を読みました。十歳になる女の子「あや」が、山菜を取りに山に入り、山に一人で住む「ばば」に出会います。そこで、一面に咲き誇る美しい花について、教えてもらおうお話です。初めて読んだのが、二年生だったか三年生だったか、はっきりしたことは覚えていませんが、ばばが語る言葉が、しつとりと心に沁みただけは記憶に残っています。誰かのために行動する、やさしい気持ちで、相手の気持ちを考へて生活すると、どこかに美しい花が咲くんだなという気持ちは、当時の幼かった自分の心に、影響を与えたような気がします。

この本との出会いから数十年。大人になり、親になり、久しぶり

に手に取って読み返す機会がありました。「やさしいことをすると花がさく」という、人間愛に溢れた筆者の言葉に、改めて感動を覚えました。

作品中に出てくる、親の気持ち・妹の気持ちを察し、せつない気持ちをぐっとこらえるあや、双子の弟のことを思い、「自分はあんちゃんだから」と母に甘えたい気持ちを我慢するまだ小さい双子の兄。この二人が咲かせた花は、「人が、人を思う美しい心」が、「美しい花」として象徴されているのではないかと思います。誰かのことを思う、やさしい気持ちは、この世のものとは思えないほど、美しい。筆者は、そんなことを思っていたのかもしれない。その筆者の思いが、本当は祭り着が欲しかったけれど、

ぐっと我慢したあやが咲かせた花を見て、

「この赤い花は、どんな祭り着の花もよりよりも、きれいだべ。」と、ばばに語らせたのではないのでしょうか。そして、花さき山には、一面に美しい花が広がっています。この世の中には、それだけ多くの「やさしさ」があふれているということなのでしょう。社会は、「誰かが誰かを思う」美しい気持ちでいっぱいなのだ、ということ、筆者は伝えたかったのではないのでしょうか。

翻ってみますと、自分は果たして花さき山に花を咲かせることはできているだろうかと考えてしまいます。やさしい気持ちで、相手の気持ちを考へて行動できていることが、どれほどあるのでしょうか。

つい、自分を優先したり、相手の気持ちを考へずに行動したりしてしまっていることが、どれほど多いことか。そして、「忙しい」「しかなかったが」「自分だけではない」と、自分自身に言い訳をしてしまうのです。

やさしい気持ちで、相手のことを考へて行動するということは、言葉にするほど簡単なことではないかもしれませんが、しかし、私たち一人一人が、一本ずつでも花さき山に花を咲かせることができれば、少しずつでも美しい心を行動で表していければ、ともすれば他人に攻撃的になりがちな世の中が変わっていくかもしれません。まずは、身近な人々に、やさしく接してみたいと思います。

### Illustration&Quiz

イラスト&クイズ



PN. 木村 ようへい (各務原市)



PN. マフティー・N・エリン (関市)

### question

出題：竹田 隆之介 (本巣市)  
(答えは41ページ)

「まんじゅう」の中に入っている子はどんな子？

## 子の思い

### 新しい家族がふえたよ

坂祝町立坂祝小学校

三年 かねまつ あゆは

私は、五人兄弟で七人家族です。毎日、とてもにぎやかで楽しいです。この夏、新しい家族がふえました。ロットワイラーという犬がた犬です。名前はジャック。お父さんがつけました。私は犬がにが手でさわることもできなかったけれど、ジャックをはじめてみた時、「かわいい!!」と思い、さわるのができました。ジャックはまだ赤ちゃんなので、トイレをしっぱいしたり、水をひっくり返したり、色んな物をかじったり、いたずらばかりします。大へんな事がたくさんです。でも、家族でジャックの世話をきょう力してやったり、ジャックの話をしたりして、前よりもっとにぎやかになりました。

そして、いつもみんなが笑顔でいるような気がします。ジャックのおかげです。ジャックは犬だけれど、私の大切な家族です。すくすく大きく育ってほしいです。私はジャックが大すぎです。

### 今年で最後の一輪車演技

恵那市立飯地小学校

六年 瀨瀬尚歩

私たちいいじつ子の自まは、全校が一輪車に乗ることができなことです。他の学校はあまり全校で一輪車に乗ることがないと思うので、全校で一輪車に乗ることはすごいと思っています。

今年運動会がなくなってしまうって、私は一輪車演技ができなと思っています。だけど、一輪車の発表会があったので、運動会がない分、一輪車ですごくいいところが見せられたら良いと思いました。高学年は、いろいろな技ができて

るのもすごいと思っています。私は、特に、タイヤ乗りを今頑張っています。なぜなら、一輪車演技でタイヤ乗りをみんなの前で見せるからです。とてもきんちょうするけれど、みんなに見せるために

これからの練習などをがんばって、本番にはきれいなタイヤ乗りを見せたいです。

また、一輪車演技は、だれかが乱れたらみんなが乱れてしまうので、みんなと心を合わせてやっていきたいです。今年で最後の一輪車演技をみんなで、楽しんでやりたいです。

### 仲間との絆

高山市立朝日中学校

三年 水口雄惺

自分達のクラスは、男子九名、女子六名の十五名です。保育園のころから十二年間、ずっとこのメンバーで過ごしてきました。正直、そ

る離れてバラバラになりたいと思う時や、同じメンバーで生活していくのに飽きてしまった時もありました。でも、この仲間といると、お互いのことを何でも分かり合えていて、自分の本当の姿を出しやすいし、一人一人楽しい仲間ばかりで、一緒にいると居心地の良さを感じます。今まで悩んだことなどたくさんありましたが、なんとか全員で乗り越えてきました。

中学一年生の頃、仲間関係でうまくいかなかったことがありました。喧嘩をして、関係がギスギスする仲間がいて、学級全体も雰囲気重くなりました。苦しんでいる仲間に対して、周りも無関心でした。なるべく関わらないようにしていたと思います。人数が少ないからこそ、誰かが苦しくなると、学級全体が苦しくなりました。そこで、学級を良くしたいという思いで、周りがサポートし、お互いが変な空気にならないようなコミュニケーションをとるようにみ

んなで心がけました。そんな努力を続けてきた今年の春。高山市の学校代表として自分達のクラスがオリンピックの聖火ランナーの式典で、清流太鼓を披露することになりました。太鼓は難しく、なかなかリズムを合わせる事ができなくて大変でしたが、太鼓リーダーの指示に対して皆が協力しました。自分は大太鼓という演奏の要となる太鼓を担当していて、皆の音がよく聞こえました。本番、たいていて、皆の音がびったりそろったのが分かり、団結力や絆の深まりを感じ、胸が熱くなりました。仲間達と最高のパフォーマンス

ンスができたことは大切な思い出です。

この仲間と過ごせるのも、あと半年しかありません。だからこそ、さらに絆を深めて、中学校生活を笑って終われるように、これから力を合わせていきたいです。

## 親の願い

### 親の願いと言われましても…

岐阜市立岐阜小学校

PTA会長 船戸健太郎

「勉強ができる子になって欲しい」

「スポーツを頑張ってほしい」「友達をたくさん作ってほしい」「楽しい人生を送ってほしい」なんにしても、親の願いなんてものは子どもにとっては有難迷惑なものだと自覚するようにしています。僕らにも子ども時代があったわけですが、「親が教育熱心で良かった」なんて友人の話は聞いたことがありません。自分は絶対正しいと思った瞬間に人は人に寄り添えなくなっていく気がします。

親子の関係において、大人の方が子どもの言う事に耳を傾ける姿勢を欠くことはよくあることでは

ないでしょうか。

我が家は結構なババツ子家族で、子どもにはよくなつかれている方だと思えますが、それでも僕自身、たかだか四十年の人生のたった一人の経験をもっと真理のように、我が子を思っている事だという親の正義を振りかざし、自分の都合や感情を耳障りのいい言葉で語りすぎていると思います。ただ一方で、親なんて所詮そんなものだとも思っています。

親が聖人君子じゃあるまいし、我が子に見栄を張るなど言われたってカッコはつけてしまいます。人間だから、意地になってしまいう事だっ

県立大垣桜高校  
まんが研究部

### 秋と言えば...



### 逆さ言葉

うかんだかだんかう

(浮かんだ花壇買う)

三島 淳成 (郡上市)

ありますし、頑張っていることを分か  
かって欲しくもなりません。そこがコ  
ントロールできるんだったら夫婦喧  
嘩なんておきません。

だから、自分の親としての独善  
性を認めて、むしろ「子の願い」  
を知ることから始めたいと考えた  
りもしますが、子どもってというの  
は意外と無邪気なばかりではなく  
て、「どっと思ってる?」「どっしたい?」  
という問いかけに対して「正  
解」を探すことがあります。この  
場合の「正解」というのは「大人  
が喜ぶであろう返答」という意味  
です。

小学一年生の長男の性格もある  
んでしようし、親が気が付かずの  
うちに押さえつけている影響でも  
あるのでしょうか、処世術とでも  
言うのでしょうか、知恵をつけて  
いる成長の過程とも思えますし、  
はたまた本当の気持ちなのかもし  
れません。

ともすれば、我が子の本当の願  
いって尋ねれば分かるものとも限  
りません。

らないわけで、人間同士、コミュ  
ニケーションを重ねた信頼関係の  
上でしか相互理解が難しいのには  
大人も子どももないのでしょうか。  
不思議なものです。

親子共々、お互い良く思われた  
いという気持ちで、相手にとって  
一番邪魔になるなんてことが起き  
うるなんて。だから、ある程度開  
き直って究極的に自分の親として  
の願いは何かと結論を出すすれ  
ば、「子どもの頃、親父がよく遊ん  
でくれたな」「母ちゃんの作った飯  
が食いたいな」そう思ってもらい  
たいってことかも知れません。

カッコつけた言い草ですが、実際  
一番カッコいい評価な気がします。

**個性が尊重される社会**

\*\*\*\*\*  
大垣市立西部中学校  
PTA会計 井上あつ子  
工作上、多くのお母さんたちと  
その子どもさんたちのことについ

**教育の窓**

**「いじめ」がなく、  
どの子にも安心・安全な  
学校であるために**

\*\*\*\*\*  
多治見市立精華小学校  
校長 渡辺裕之  
今年度PTA家庭教育委員会では  
「シトラスリボンプロジェクト」と  
言ってシトラス色のリボンをつける  
ことで新型コロナウイルスに感染し  
た人にいじめや差別を自分はいじ  
めを表すプロジェクトに取り組ん  
でいます。

てお話をする機会をいただいでい  
ます。その中で改めて気付かされ  
るのは、大人ももちろん、お子さ  
ん一人一人も違うということ。コ  
ツコツ積み重ねることが出来る子  
、一つのことを深く掘り下げたい子  
、色々なことに興味をもつ子、歌を  
歌いたい子、スポーツが得意な子  
、一人でいるのが好きな子等々。同  
じことを話しても受け取り方も人  
それぞれ。「みんなちがって、みん  
ないい。」というフレーズをよく耳  
にするようになりましたが、まさ  
にその通りだと思えます。そんな  
子どもたちそれぞれの個性、特性  
が尊重される社会であり、学校で  
あり、家庭であってほしいと思っ  
ようになりました。

科学技術の発達により今の半分  
の仕事はAIに取って代わられる  
と言われていてこれからの社会で  
必要とされるのはどんな人だろ  
う?それを考えると、これまでと同  
じ育児や教育では難しいような気  
がします。他の子と同じように出

この活動を受け、早速児童会や六  
年生が中心となり、全校で「シトラ  
スリボンプロジェクト」が進められ  
ました。児童会で次の内容の動画を  
つくり各学級で見てもらいました。

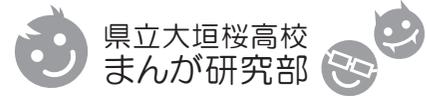
児童会では『みんな楽しく、みん  
なうれしくあいつ、校内ルール  
みんな当たり前』のスローガンの  
もと頑張っています。コロナに  
よって当たり前の生活が変わってし  
まうことがあります。そんな中  
でも、みんな楽しく、みんなうれしく、そ  
して笑顔で過ごせることが児童会の  
願いです。  
そこで、六年生を中心に何か出  
来ないかと考えた結果、コロナで

来なければならぬことなどは実  
は何も無くて、その子が心からや  
りたいと思うことを見つけてこと  
の方が大切で、それを自ら見つけ  
られるような体験学習をたくさん  
させてあげられたらと思うのです。  
「みんなちがう」のだから人と比べ  
る意味も無いし、まして人より劣っ  
ているところをわざわざ指摘する  
必要もありません。子どもたち同士  
もお互いのよさを認め合い、「僕に  
は、私には、これがある。」という  
ような自信や夢をもてたら、この先  
の未来への不安などは無くなって  
いくのではないのでしょうか。今まで  
の当たり前や常識も、これからの社  
会では必ずしも正しい訳ではない  
ことを大人たちがまず受け入れて  
いく必要があると思います。

そして、子どもたちを信頼する  
ことも必要です。子どもたちは大  
人が思うより「おとな」で、子ど  
もたちなりにちゃんと考えている  
のだなと思わされることが多いで  
す。周りから過剰なサービスを与

あってもなくても、笑顔で毎日過  
ごせるように、差別やいじめのな  
い学校にしたいと思っています。  
そのために六年生は、「シトラスリ  
ボンプロジェクト」という活動を  
行っています。

このプロジェクトは、コロナに  
よるいじめや差別をなくそう、と  
いうプロジェクトです。シトラス  
リボンを作って、つけることで、  
全校で意識を高め、いじめや差別  
のない学校に、笑顔あふれる学校  
にしていきましょう。ぼくたちと  
一緒にシトラスリボンを作ってみ  
ませんか?  
という呼びかけです。



県立大垣桜高校  
まんが研究部

**さつまいも**



**逆さ言葉**

のうかもいもかうの?

(農家も芋買うの?)

土屋 美賀 (関市)

児童会の呼びかけに応え、三年生以上はシトラスリボンを手作りしたり、六年生が低学年に自分たちで作ったシトラスリボンを配ったりして、活動を全校に広げました。

新型コロナウイルスに感染してしまった人がいじめや差別を受けることなく安心して生活できるように、新型コロナウイルスに感染する人が出た時こそ、「早くよくなって」「よくなって登校できた時はいじめられないよう守ってあげるよ」など、『ぼかぼか言葉』をかけ、いじめがおきないことが大切です。

「シトラスリボンプロジェクト」により、新型コロナウイルスに感染する人がいても、いじめや差別をせず、「ただいま」「おかえり」「元気になってよかったね」という優しい気持ちを自分も持っていることを表すことができるようにしています。

今後、ワクチン接種が進んでいくと思われませんが、感染力がより強い新たな変異株が登場するなど、

感染状況がどうなるのか不透明です。引き続き、各ご家庭でも、感染予防に努めているところです。

\*\*\*\*\*  
「考えさせること」の大切さ  
\*\*\*\*\*

各務原市立川島中学校  
教頭 加藤隆広

二十代後半で赴任した小学校(全校小学級の小規模校)で三年生の担任をしました。この小学校は、健康づくりの一環として週に三回の朝の青空(運動)タイムをはじめ、休み時間に全校児童が裸足で運動することをメインとした「裸足の健康教育」を推進していました。運動場で全校児童が一斉に裸足になって遊びや運動をすることから、足の汚れを洗うために比較的大きな足洗い場が三つあり、これを管理するのが三年生でした。五月中旬の業間休みが終わるうとしていた時でした。子どもたちから、「栓が壊れて水が抜けちゃ

う、先生どうしよう」と相談がありました。ある足洗い場のゴム栓が劣化により破損し、水を溜めることが困難な状態でした。その足洗い場に集まった三年生に、「どうしたらいいかな。何か良い方法はないかな」と投げかけると、「石で蓋をすればいい」、「木の枝を切って栓を作ればいい」など子どもたちの考えが飛び交いました。しかし、どれも上手くいきません。そんな中、Hさんが「粘土で栓を作ればいい」と発案しました。他の子どもたちからは「粘土がドロドロになっちゃうよ」、その言葉に反応したHさんは「粘土を袋に入れて栓にすれば大丈夫じゃない?」、他の子どもたちからは、「それ、いいね」、「Hさん、すごい」と声があがりました。早速、子どもたちが粘土と袋で栓を作り試してみました。水が抜ける様子はなく、みんなの歓声があがりました。ゴム栓を買えば済むことですが、私は子どもたちが考え手作り

した栓を夏休みになるまで意図的に使いました。八才、九才の子どもたちが考えた宝物だからです。これはみんな話し合う中で、一人のよりよい考えを認め合う場面の一つでした。私は、年間を通して子どもたちのアイデアや発想、工夫を引き出すために班活動を主に考えをもたせ、話し合うことを大切にしました。子どもたちの自主性や主体性がどんどん高まり、発想の豊かさに驚きと感動をいっぱいもらいました。私たち大人が簡単に答えや指示を出し過ぎれば、子どもの自ら考える場を奪い取り、本来の成長を妨げてしまうこととなります。今、私たち大人が大切にしなければならぬのは、子どもの年齢的な発達段階を考えつつ、その時その時、さらには意図的・計画的な子育て(教育)ではないでしょうか。子どもたちに考えさせる場や時間を、意図的につくり、その考えを認め、褒めてあげてはどうでしょうか。

## 親子のコミュニケーションツール

美濃市立牧谷小学校PTA会長 梶田 清仁

私には、六年生の息子と四年生の娘がいます。わが家の環境は、とても自然豊かで生徒数も少ない、いわゆる田舎の地域です。

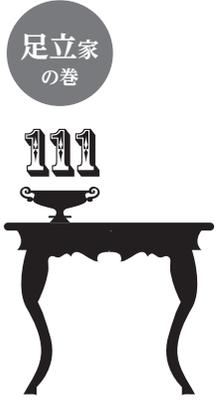
これまで、休日の楽しみと言えば、TVゲームが中心で、勉強にも力が入らない毎日。家の中の生活がほとんどで、健康的な生活とは言えません。しかし、そうした生活が一変する出来事がありました。ある日、子どもたちから、「僕たちバスケットチームに入りたい」と希望されたのです。

正直出来るとは思っていませんでしたが、まずはやってみる事からと始めたバスケットボール。しかし、思った以上に、真剣に取り組み、懸命に指導を受けていました。「もっと上手になりたい」そんな熱心な思いに心を動かされ、「できるかぎり私も一緒にバスケットボールをしよう」と自分に約束をつくり、一緒に練習する様になりました。子どもたちは、次第にTVゲームから離れ、空いた時間は大好きなバスケットと、クラブに行く為の勉強時間になりました。同じ時間が共有でき、親子の会話もとても増えてきました。

子どもたちの楽しみが、いつしか私の楽しみにもなって、今ではとても良い時間を過ごしています。



### 話そう!語ろう! わが家の約束



- わが家はゲーム購入前に子ども達と話し合い、運用ルールを決めてから購入をしました。
1. 宿題を完了させるまではゲームをしない。
  2. 宿題完了時は、みまもり設定を三十分にして、ゲーム可能にする。
  3. 家のお手伝いをする事により、ホワイトボードに○を書き、○一つにつき十五分のゲーム時間延長を行う。
- などの運用ルールを決めたことにより、やるべき事を先に済ませると後で苦勞をしなくて良い事や、お手伝いを習慣づける動機付けが出来ました。

また、お手伝いの感想を聞いたところ、大変だ、面倒だ、様々な声が出てきましたので、それを毎日やってくれる母の苦勞を理解し、感謝の気持ちを忘れるなど伝えることも出来ました。子ども達への教育を通じて我が身を正し、共に成長し、学び、自立させていけるようこれからも話し合いを続けて行こうと考えています。

羽島市立桑原学園PTA会長 足立 久

### わが家の約束

# 大豆の落とし揚げ



岐阜県学校栄養士会・(公財)岐阜県学校給食会

秋に収穫を迎える大豆を使った一品です。大豆は、現代人に不足しがちな食物繊維や、成長期の子どもに必要な鉄やカルシウムを豊富に含みます。また、肉と同等のたんぱく質が豊富に含まれることから「畑の肉」と呼ばれています。嗜好的に肉類は子どもに好まれますが、肉類に偏ると動物性脂肪のとりすぎにつながるため、大豆はもっと活用してほしい食品のひとつです。

旬を迎えるねぎを大きめに切って、多めに入れて作るのもおすすめです。小さめの団子にして、カリカリに揚げるとおいしく出来ます。みそが入っているので、焦げないように気を付けてください。

## 材料

【材料】(4人分)

- 水煮大豆…………… 80g
- しょうが…………… 4g
- ねぎ…………… 60g
- ツナ缶(オイル漬)…………… 40g
- 白いりごま…………… 小さじ2
- みそ…………… 大さじ1/2
- A 砂糖…………… 小さじ1
- 卵…………… 1個
- 小麦粉…………… 大さじ3と1/2
- ベーキングパウダー…………… 小さじ1/4
- 揚げ油…………… 適量
- しょうゆ…………… 大さじ1/2
- みりん…………… 小さじ2
- B 砂糖…………… 大さじ1
- だし汁…………… 80cc
- 片栗粉…………… 小さじ1
- むき枝豆…………… 16g

## 作り方

- ① 大豆はフードプロセッサーなどで、粗みじんに切る。しょうがはすりおろす。ねぎは小口切りにする。
- ② むき枝豆はゆでておく。
- ③ ボウルに①とAを入れ、へらで混ぜ合わせる。
- ④ 175℃に熱した揚げ油に、③をスプーンですくって落とし入れ、きつね色になりカラッとするまで揚げる。
- ⑤ 鍋にBを入れかき混ぜてから加熱し、とろりとしたあんを作る。最後に②を入れる。
- ⑥ ④を器に盛り付け、⑤をかける。



## ●栄養価(1人あたり)

エネルギー……………	217kcal
たんぱく質……………	11.8g
脂質……………	10.2g
カルシウム……………	68mg
鉄……………	2.1mg
亜鉛……………	1.0mg
ビタミンA……………	16 μgRE
ビタミンB <sub>1</sub> ……………	0.23mg
ビタミンB <sub>2</sub> ……………	0.14mg
ビタミンC……………	4mg
食物繊維……………	4.7g
食塩相当量……………	0.7g



11月号の

# 親子ではてな



Q1 二十四節気のひとつで、暦の上で冬が始まる日を意味するのは次のうちどれでしょう?

- ア 大雪
- イ 立冬
- ウ 冬至



Q2 11月3日は国民の祝日のひとつです。何の日でしょうか?

- ア 文化の日
- イ 勤労感謝の日
- ウ 秋分の日



## 応募方法

応募者は、はがきで、11月末までに下記の宛先へお送りください。  
(1人1枚・当日消印有効)  
※クイズの答えは1問だけでもOKです。

宛先 〒500-8816  
岐阜市菅原町3-3  
岐阜県校長会館内  
岐阜県PTA事務局  
「わが子のあゆみ編集部」

なお、応募はがきには「わが子のあゆみ」への感想・意見やなぞなぞの問題と答え、逆さ言葉などを記入してください。

## ●11月号クイズの答え

●郵便番号・住所  
学校・学年・氏名  
保護者名

●『わが子のあゆみ』  
への感想・意見

●「なぞなぞ」の  
問題と答え

●逆さ言葉

## 9月号クイズ答え

Q1 (イ) Q2 (ア)

## 9月号のクイズ当選者

大西 ひな(岐阜市) 松原 壮(羽島郡)  
中村 桃寧(岐阜市) 鈴木 伶実(郡上市)  
白木 葵(本巣市) 和田 智咲(郡上市)  
勝 咲来歩(不破郡) 和田 磨音(郡上市)  
五十川陽紀(揖斐郡) 和田 夢彩(郡上市)  
堀 希実(羽島郡) 平田 健人(加茂郡)

## なぞなぞの答え

- ① 占い師(売らないし)
- ② あんこ(あん子)

南小学校は大垣市のほぼ中心部の南に位置している学校です。大垣市は、松尾芭蕉の「奥の細道」むすびの地であり、俳句文化が根づいています。

また、江戸時代から行われている伝統ある大垣まつりは、平成二十七年に国重要無形民俗文化財に指定され、さらに平成二十八年には、ユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、伝統と文化が息づく街です。(南小校区には、祭軸を所有する町内が三つあります。)

さらに、全国でも有数の自噴帯に位置しており、良質で豊富な地下水の恵みにより、「水の都」と呼ばれています。

### 地域の方からふるさとを学ぶ

南小学校には、ふるさとを学ぶ機会として、ふるさと大垣科、総合的な学習の時間、クラブ等があります。そのうちのいくつかを紹介いたします。

#### ① ふるさと大垣科

一〜六年生が俳句を学んでいます。地元の俳句協会の方が講師として授業で直接指導してくださる機会もあり、子どもたちは、俳句づくりの楽しさを味わっています。

#### ② 総合的な学習の時間

三年生が、「わがまち大垣のよき発見」をテーマに学習を行っています。市役所にて大垣祭りの十三両の軸の模型が展示された際、見学に行きました。昨年からは二年連続で「大垣まつり」が中止となりましたが、実物の五分の一の大きさと精巧に再現された軸を見て、「本物が見たい。」と「大垣まつり」に一層興味をもつことができました。

四年生は、「大垣で起きている環境問題」について考えます。

市の環境衛生課から講師をお招きし、川にすむ生き物を調べ、カワゲラウオッチングを行いました。川を美しくするために自分たちでできることを考えました。

五年生は、「大垣の伝統文化と継承する人々」をテーマとして学習します。校歌にも「泉の都 水の街」とあり、校区の自噴水をはじめ、市内の自噴水をめぐり、地域の人々の日常生活水としても大切に受け継がれていることを学びます。

#### ③ クラブ活動

クラブ活動の一つに「お囃子クラブ」があります。地域の講師の方に笛や太鼓の演奏の仕方を教えていただきます。昔から伝わる伝統芸能を引き継ぐ役割も担っています。

### 地域の方への感謝の気持ちを伝える

このように、多くの地域の皆様を講師としてお招きしながら、地域の歴史や伝統、文化を子どもたちが肌で感じ、確かに引き継いでいく土壌ができていくのが南小学校です。学校では、毎年こうしてお世話になった地域の皆様をお招きして、感謝の会を行っています。残念ながら昨年度は新型コロナウイルスの影響により、会を開催することはできませんでしたが、六年生の子どもたちが中心となってお一人お一人にお礼の手紙を書いて届けました。

今年度も活動が制限されています。しかし、これからも、何を大切にすべきかを子どもたちと一緒に考え、できることを工夫して行っていきます。そして、ふるさと大垣に誇りと愛着をもち、大垣のすばらしさを語るができる子どもたちを育てていきます。

## 地域の方からふるさとを学ぶ

▶【大垣まつりの軸見学】熱心に見入ってメモをする姿もありました。



▶【旅に生きた芭蕉】「奥の細道むすびの地記念館」を見学し、松尾芭蕉と大垣との深い交わりを学びました。



▶【俳句づくり】俳句の約束について知り、楽しく俳句を作ることができました。



▶【カワゲラウオッチング】水路に降りて川にいる生き物を実際に捕まえて観察しました。



▶【自噴水めぐり】各所で澄んだ水が湧いていることを知りました。



▶【自噴水めぐり 芭蕉の句】水門川沿いにあるたくさんの芭蕉の句碑を巡りました。



▶【お囃子クラブの練習】横笛や太鼓の練習をし、横笛が吹けるようになりました。



▶【祭りの様子】大垣まつりの軸に巡行して子どもたちが実際に披露しました。



# きらり! キッズ!

関市立洞戸小学校

洞戸小学校は、関市洞戸（旧武儀郡洞戸村）の山間部に位置し、学校の西側を清流板取川が流れる、自然豊かな地域にあります。学制が公布された翌年の明治六年には文昌義校として開校し、それ以来一五〇余年という大変長い歴史の中にある学校です。人口減少に伴い在籍児童数も少なくなり、現在は全校児童八十三名の小規模校です。しかし地域人材は豊富で、地域の方々と共に地域社会人の育成を目指し、教育活動を展開しています。

## 地域に響く伝統の音色「鼓笛」

昭和六十三年、旧洞戸村にあった洞戸北小学校が、洞戸小学校と統合しました。現在まで続く鼓笛隊はその合併よりも前からそれぞれの学校で組織されており、半世紀以上という長い歴史のある活動となっています。四〜六年生全員が隊員となり、先輩から後輩へ演奏のコツや伝統を引き継ぐために大切なことを丁寧に伝えながら、日々練習をしています。秋の運動会を皮切りに「ほらどキウイマラソン」「ピースベルフェスティバル」といった地域行事でも演奏披露をしており、地域の方々も毎年楽しみにしてみえます。（コロナ禍での披露は中止となりましたが、練習は感染対策をしっかりと行いながら継続しています。）



年度初めに皆でめあてを決め活動をスタートさせます。



コロナ禍、まちづくり委員会の協力でドローン撮影&放映。



各パートで後輩は先輩から学びながら、伝統曲3曲を練習します。



12月には6年生から4年生へ楽器の引継ぎを行います。



ほらどキウイマラソンでの披露の様子（令和2・3年は中止のため、写真は令和元年のもの）。6年生にとっては最後の鼓笛披露の場となります。

行進と演奏を合わせながらの隊形移動練習。

## 地域の方から学ぶ地域学習

本校では、総合的な学習の時間等において、地域の方々と講師に招き、地元の自然、文化、産業について学びます。長寿会、JAめぐみの洞戸支店、ほらど未来ファーム、洞戸中央農地保全管理組合のご協力で、田植え・稲刈り体験をしたり、地元の名産であるキウイフルーツの授粉・収穫体験をしたりします。また、地元の漁業協同組合のご協力による友釣り体験、地元の自動車工場のご協力による自動車解体体験も行っています。こういった地域の中で行う教育活動が、将来をたくましく生き抜く地域社会人への育成につながるということを信じ、今後も地域の方々と共に教育を進めていきます。



多くの講師の方から稲づくりについて学び、後輩に伝えます。



キウイの実をつけるための大切な授粉作業を行います。



収穫したキウイで、ジャム等を作ります。



友釣りを教えてもらい、自分の手でアユを釣り上げます。



自分たちの手で本物の自動車を分解します。

## 卓球部



私たち卓球部は、未経験者も多いですが、声をかけ合いながら練習に取り組んでいます。

卓球の技術はもちろん、道具を揃えておくことや全員で準備や後片付けをすることなど、当たり前のことを当たり前にするということも意識して活動しています。

## 女子バレーボール部



私たちバレーボール部は、「声」を出すことを大切にして14名で練習に励んでいます。試合で力が出せるよう練習から全員でやりきることを意識しています。また、仲間が失敗して不安な顔をしている時には、お互いに励まし合い、チームとしての絆を深めてきました。一勝でも多く勝てるよう今後も部員一丸となって努力していきます。

## 陸上部



陸上部では、「自己ベストを出す」「人間性を高める」の2つを目標に日々練習に取り組んでいます。素早く準備をしたり、周りを見て自分にできることを率先して考えて行動したりして、技術と心を鍛える練習になるよう心がけています。

## サッカー部



昨年度、休部となったサッカー部ですが、多くの新入生が入部し、活動を再開することができました。限られた時間でも、チームとして成長することができるように、互いに声をかけ合ったり、時間を守ったりすることを大切にしています。大会では、一試合でも多く勝てるよう頑張ります。

## コンピュータ部



コンピュータ部では、パソコン検定(P検)での合格を目標にタイピングや資料作成の練習などを行っています。特に、「まずは自分で考え努力する」ことを大切にして活動することは伝統となっています。そして、一人一人の向上心が高まり、集中した雰囲気の中で活動することができています。

## 剣道部



僕たち剣道部は、2年生男子3名、1年生男子2名、女子1名の計6名で活動しています。僕たちは、剣道を通して人として成長するよう日々自分自身を鍛えています。部活動では、常に気合を入れながら稽古し、気持ちの強さを武器に大会や審査会に臨んでいます。

## 女子ソフトテニス部



女子ソフトテニス部では、「声、全力、礼儀」を大切にして活動しています。そのために、限られた練習時間の中で、いつでも仲間と声をかけ合い、一生懸命練習しています。大会では、1回でも多く勝てるように、これからも一球一球にこだわって頑張ります。

## 男子ソフトテニス部



男子ソフトテニス部では、「明るく、元気に、一生懸命」をモットーに活動しています。そのために、練習から一人一人が声を出し、仲間がボールを打っている時でも声を出し続けることを意識し、活気ある部活動として活動しています。

# 私たちのPTA



令和3年度入学式



PTA総会



環境整備作業



図書館の本の修繕



廊下掲示 (多文化共生)



授業参観



図書館整備作業



読み聞かせ動画

## はじめに

本校は可児市の北部に位置し、現在県内で一番児童数が多い学校です。全校児童数は九百七十八人、外国籍児童も百九十七人います。多様化が進む中、子どもたちみんなの笑顔で楽しく健やかな生活を願い、地域・学校・家庭で連携しながら教育活動をすすめています。左記に示した今年度のテーマは、真心をこめて真剣に子どもたちに向き合うこと、それぞれができることをできる範囲で全力でサポートしながら、日々の子どもの成長につながればという思いをこめています。

### 令和3年度 PTA活動テーマ

- ★い…いつも寄り添う
  - ★ま…真心こめて
  - ★き…希望を育てる
  - ★た…大切な絆
- く子供のために力をあわせるく



## PTA (はぐくみの会) 活動

令和3年度は書面審議のみでのスタートとなっています。

### 学級委員会

授業参観は参観者を分散させて行いました。参観者の健康チェック、検温にPTA学級委員が協力しました。

### 環境整備委員会・地区委員会

例年は夏休みに行っていた環境整備作業ですが、昨年度

は十月に開催しました。地区委員、環境整備委員と有志による自由参加でしたが、約百名が参加し、運動場、中庭などがみちがえるようにきれいになりました。

地区委員が中心となって行っている資源回収については接触をさけるために、ご家庭より直接持ち込んでいただくドライブスルー方式で行いました。

### 体育委員会

本来は子どもたちの体育的な活動支援をしてきましたが、コロナ禍においては、環境整備委員と協力して図書館の本の修繕を行う等の活動を行いました。

### 母親委員会

学校教育と家庭教育の接点をもつために、夏休み中の家族みんなで協力しながら料理等を実践する一過程一実践を推進しました。また、毎年実施している本の読み聞かせについては、動画収録をして工夫して行います。

### 広報委員会

大きな行事開催ができない中、先生方の協力を得て二回広報誌を発行しました。広報委員の活動としてはSNSを活用し、会員内で広報誌の制作状況を共有することで、会員同士の連携をとり、つながりをもつように心がけました。

## おわりに

今まで学校でできていたことができなくなっていること、活動が制限される中ではありますが、子どもたちの輝く未来・希望を育てることを目標に活動しています。そのために、先生や親、親と親、地域の方、子ども同士それぞれの絆を深めることで、一人を抱えている不安や問題を少しでもとりのぞき、周りの協力を得ながら活動を推進していきます。

# がんばる子らの 汗と笑顔と眼差しと

各務原市立那加第二小学校



## 仲間と学び合う

子どもたちと考えた授業の5つの約束「Nスタ5」で仲間と学びを深めています。



## 那加二っ子スポーツフェスティバル

運動会の代わりに児童会の代表委員会が中心となって生み出した行事です。



## お昼寝タイム

お昼寝の後はすっきりして5時間目の授業に取り組みます。



## 朝ボランティア

毎朝、6年生が取り組んでくれているので、全校がさわやかに1日をスタートできます。



## PTA学校開放デー

PTAが企画し、毎年、地域の講師を招いていくつもの楽しい講座が開設されます。



## 新境川探検

4年生は学校横の新境川で水質調査をし、環境について考える学びをしています。

機関誌「わが子のあゆみ」  
令和3年度 初冬号  
第73巻3号 通巻468号

発行 / 令和3年11月1日 岐阜県PTA連合会  
〒500-8816 岐阜市菅原町3-3 岐阜県校長会館内  
電話 / 058(262)3257 FAX / 058(262)3259  
Eメール / info@gifu-pta.jp ホームページ / https://gifu-pta.jp  
編集 / 岐阜県PTA連合会広報委員会「わが子のあゆみ」編集部  
印刷 / サンメッセ株式会社